

Oracle Direct Seminar



ORACLE®

意外と簡単!?! Oracle Database 11g

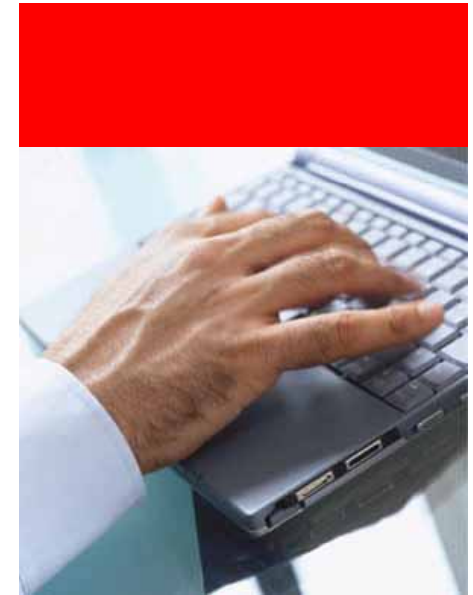
- データベース設定編 -

日本オラクル株式会社

Oracle Direct

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ



無償技術サービスOracle Direct Concierge

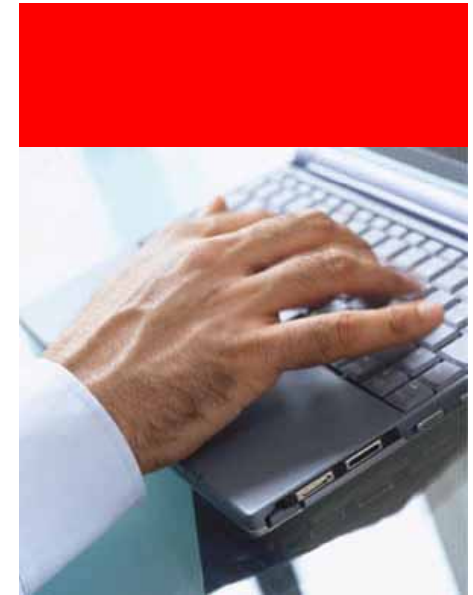
- ・SQL Serverからの移行アセスメント
- ・MySQLからの移行相談
- ・PostgreSQLからの移行相談
- ・Accessからの移行アセスメント
- ・Oracle Database バージョンアップ支援
- ・Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - ・パフォーマンス・クリニック
 - ・Oracle Database 構成相談
- ・Oracle Database 高可用性診断
 - ・システム連携アセスメント
 - ・システムセキュリティ診断
 - ・簡易業務診断
- ・メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ




無償技術サービスOracle Direct Concierge

- ・SQL Serverからの移行アセスメント
- ・MySQLからの移行相談
- ・PostgreSQLからの移行相談
- ・Accessからの移行アセスメント
- ・Oracle Database バージョンアップ支援
- ・Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - ・パフォーマンス・クリニック
 - ・Oracle Database 構成相談
- ・Oracle Database 高可用性診断
 - ・システム連携アセスメント
 - ・システムセキュリティ診断
 - ・簡易業務診断
- ・メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE



データベース構築編で行った作業とシステム構成について

- **意外と簡単!?! データベース構築編で行った作業**

- Oracle Database 11gのインストール
- DBCAを使ったデータベースの作成
- Enterprise Managerの事前設定

- **システム構成**

オペレーティング・システム: Microsoft Windows 2003 + Service Pack1

RDBMS: Oracle Database 11g Release 1 Enterprise Edition for Windows

■ 本セミナーのゴール

- 基本的なデータベース設定をできるようになる
- Enterprise Managerの操作に慣れる

- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認



Enterprise Managerを使った
データベース管理方法を解説します

Enterprise Managerで簡単に管理!!

- Oracle Enterprise Manager Database Control
- GUIベースのDatabaseなどの管理ツール
- WebブラウザからDatabaseなどの管理ができる

- Enterprise Managerで出来ること

- データベースの監視
- データベース構成の管理
- パフォーマンスのメンテナンス

他

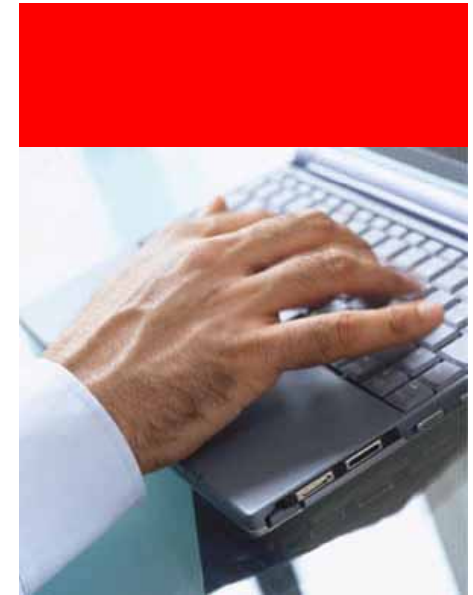
クリックひとつで
簡単操作!!



ORACLE

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ



無償技術サービスOracle Direct Concierge

- ・SQL Serverからの移行アセスメント
- ・MySQLからの移行相談
- ・PostgreSQLからの移行相談
- ・Accessからの移行アセスメント
- ・Oracle Database バージョンアップ支援
- ・Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - ・パフォーマンス・クリニック
 - ・Oracle Database 構成相談
- ・Oracle Database 高可用性診断
 - ・システム連携アセスメント
 - ・システムセキュリティ診断
 - ・簡易業務診断
- ・メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

データベース作成後の主な設定

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
 - データベースの停止と開始
 - データベース運用モード
(ARCHIVELOGモードとNOARCHIVELOGモード)
 - 初期化パラメータの確認
 - 自動メモリー管理
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ

Enterprise Managerへアクセス

- アクセスURL

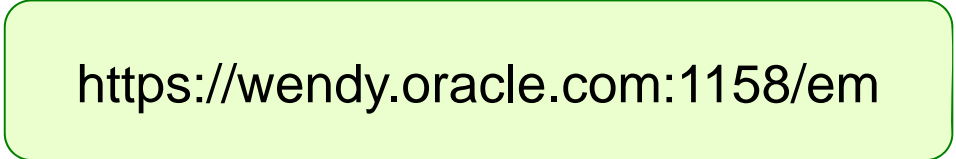
`https://ホスト名:ポート番号/em`

- ホスト名はコンピュータの名前またはアドレスです
- ポート番号はデフォルトで1158です

例)

ホスト名 : `wendy.oracle.com`

ポート番号: 1158



`https://wendy.oracle.com:1158/em`



Enterprise Managerログイン画面



Normal:

ユーザーが本来持っている
権限の範囲内で作業ができる

SYSDBA:

全作業を行う権限を持って
いる管理者として作業ができる

「データベース」の「ホーム」ページ

- データベースの稼動状況の確認

Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベース・インスタンス: ora11107 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

ホーム | パフォーマンス | 可用性 | サーバー | スキーマ | データ移動 | ソフトウェアとサポート

ターゲットから最新データの収集 2009/02/18 10時44分14秒 JST | リフレッシュ | データの表示 自動(60秒)

一般

↑ 停止 | ブラックアウト

ステータス 稼動中
稼働開始 2009/02/18 10時06分17秒 JST
インスタンス名 ora11107
バージョン 11.1.0.7.0
ホスト ipdel15dc.jp.oracle.com
リスナー LISTENER_ipdel15dc.jp.orac...

すべてのプロパティの表示

ホストCPU | アクティブ・セッション | SQLレスポンス時間

ロード 0.00 | ページング 0.00 | 最大CPU 2 | SQLレスポンス時間(%) 使用不可

診断サマリー

ADDM結果 0
アラート・ログ ORA-エラーはありません
アクティブなインスタメント 0

領域サマリー

データベース・サイズ(Gb) 1.558
問題のある表領域 0
セグメント・アドバイザ推奨 0
ポリシー違反 0
ダンプ領域使用率(%) 28

高可用性

インスタンス・リカバリ時間(秒) 23
最終バックアップ N/A
使用可能なフラッシュ・リカバリ領域(%) 24.97
フラッシュバック・データベース・ロギング 無効

名前	影響	メッセージ	アラート・トリガー
ポリシー違反	クリティカル	ルール違反 12	クリティカル・セキュリティ・パッチ 0
コンプライアンス・スコア(%) 92			

関連アラート

データベースの現行の状態を表示
緑の上向き矢印：稼動中
赤の下向き矢印：停止中

データベースを停止します

Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベース インスタンス: ora11107 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

ホーム パフォーマンス 可用性

ターゲットから最新データの収集 2009/02/18 10時44分14秒 JST リフレッシュ データの表示 自動(60秒)

一般 **停止** ブラックアウト

ホストCPU アクティブ・セッション

ロード中... ロード 0.00 パージング 0.00 最大CPU

ロード中... 最大CPU

起動/停止:ホストとターゲット・データベースの資格証明の指定

データベースのステータスを変更するには、次の資格証明を指定してください。

ホスト資格証明

OSユーザー名とパスワードを指定してターゲット・データベース・マシンにログインしてください。

*ユーザー名 oracle

*パスワード ●●●●●●

データベース資格証明

ターゲット・データベースの資格証明を指定してください。

OSの認証を使用するには、ユーザー名とパスワードの各フィールドを空白にしておいてください。

*ユーザー名 sys

*パスワード ●●●●●●

データベース ora11107

*接続モード SYSDBA

優先資格証明として保存

データベースのステータスを変更するには、SYSDBAまたはSYSOPERとしてデータベースにログインする必要があります。

データベース | 設定 | パフォーマンス | ヘルプ | ログアウト

Copyright (c) 1996, 2008, Oracle. All rights reserved.
Oracle, JD Edwards, PeoplesoftおよびReteckはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標またはOracle Enterprise Managerバージョン情報

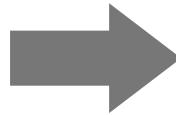
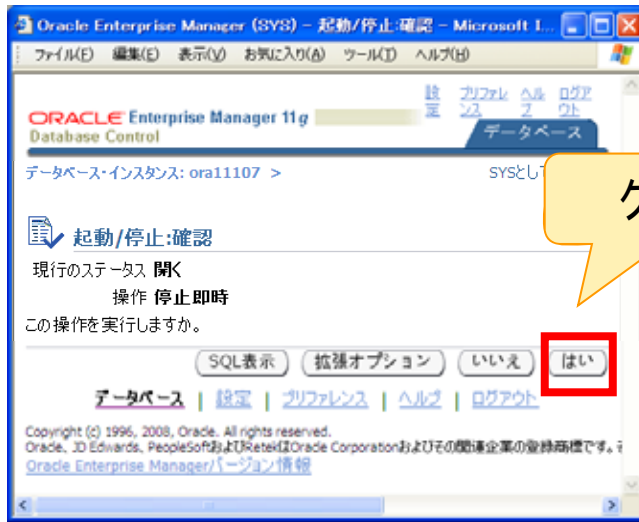
ユーザー名/パスワードの入力
ホスト資格証明:
OSのユーザー名/パスワード
データベース資格証明:
データベースのユーザー名/パスワード

クリック

クリック

ORACLE

データベースを停止します



データベース・インスタンス

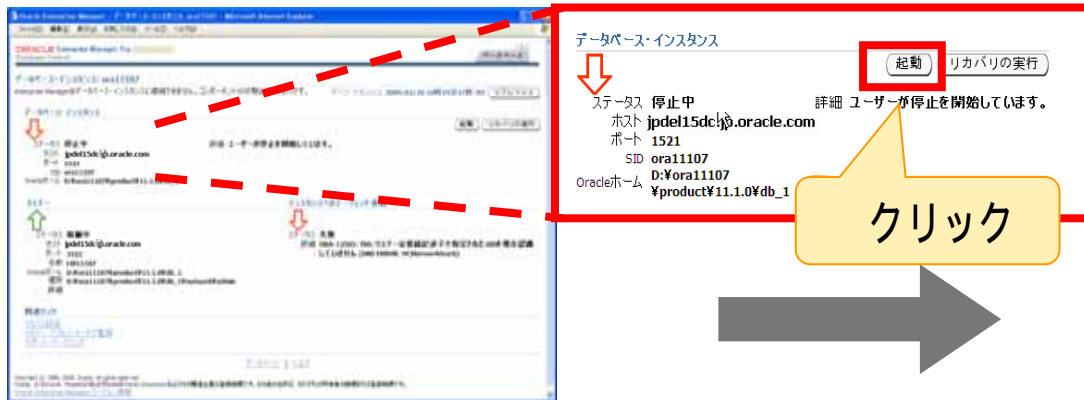
↓
 ステータス 停止中
 ホスト jpdcl15dclj0.oracle.com
 ポート 1521
 SID ora11107
 Oracleホーム D:\ora11107\product\11.1.0\db_1
 ¥product¥11.1.0¥db_1

詳細 ユーザーが停止を開始しています。

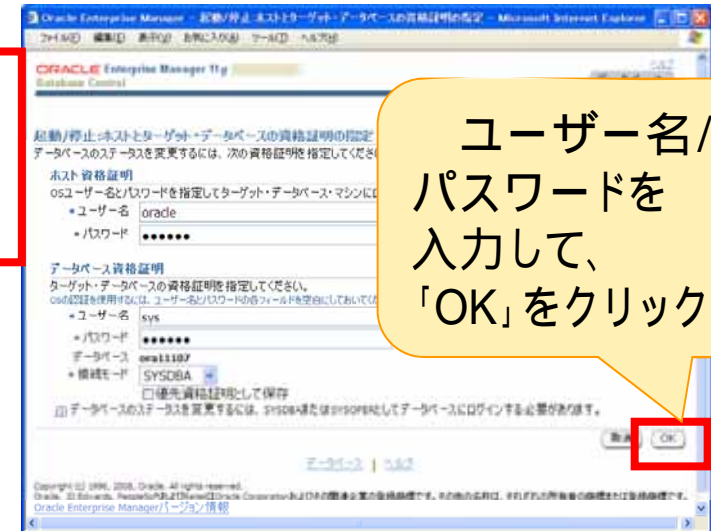
データベースの現在の状態が「停止中」と表示

データベースを開始します

• 「ホーム」ページ



• 起動 / 停止: ホストとターゲット



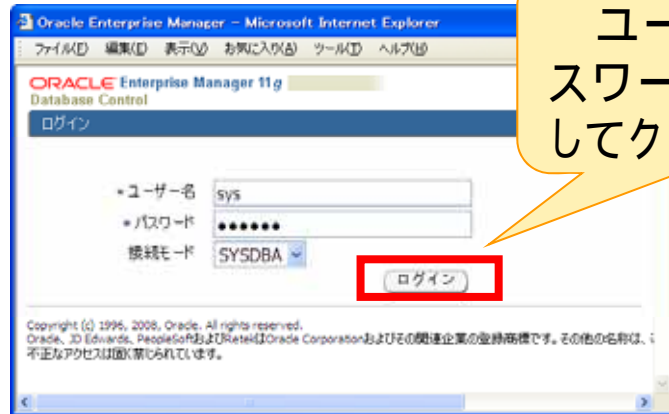
• 起動 / 停止: 確認



• 起動 / 停止: アクティビティ情報



データベースを開始します



ユーザ名とパスワードを入力してクリック



データベースの現行の状態を表示
 緑の上向き矢印：起動中
 赤の下向き矢印：停止中

一般
 停止 ブラックアウト
 ↑
 ステータス 稼働中
 稼働開始 2009/02/23 11時45分16秒 JST
 インスタンス名 ora11107
 バージョン 11.1.0.7.0
 ホスト jpdcl15dc.jp.oracle.com
 リスナー LISTENER_jpdcl15dc.jp.orac...
 ↓
 すべてのプロパティの表示

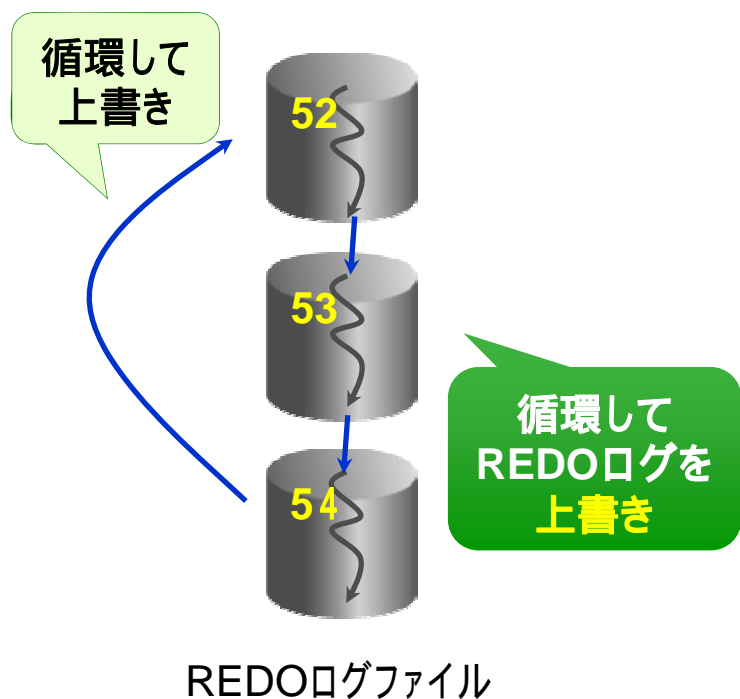


データベース作成後の主な設定

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
 - データベースの停止と開始
 - データベース運用モード
(ARCHIVELOGモードとNOARCHIVELOGモード)
 - 初期化パラメータの確認
 - 自動メモリー管理
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ

データベース運用モード

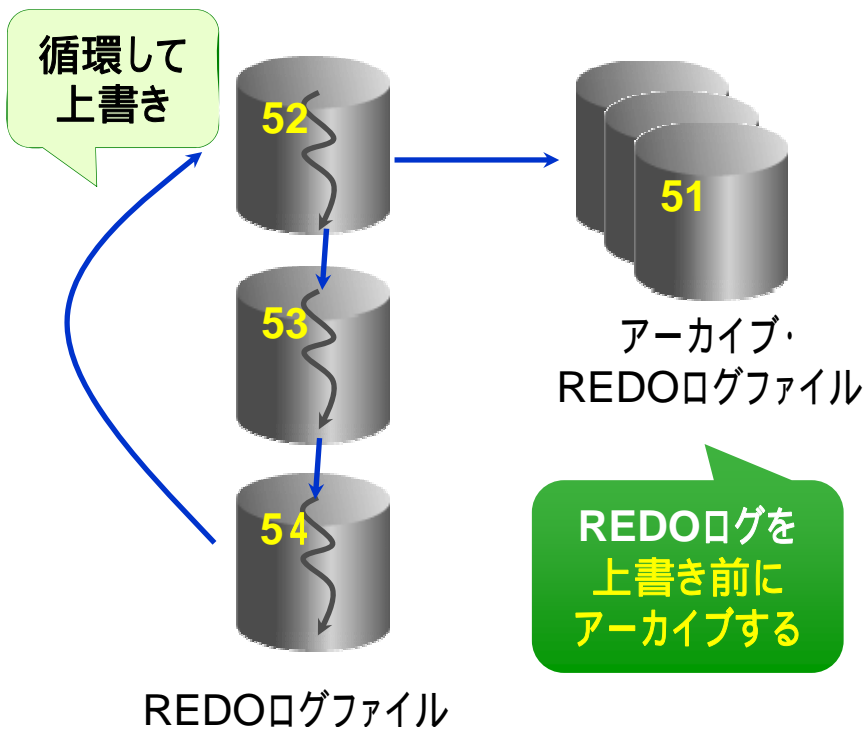
NOARCHIVELOG モード



更新履歴情報がないので、
バックアップ時点のデータまでを復旧可能

推奨

ARCHIVELOG モード



障害直前の状態まで復旧可能

ORACLE

NOARCHIVELOG モードからARCHIVELOG モードへ変更



ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

ホーム パフォーマンス **可用性** サーバー スキーマ

ターゲットから最新データの収集 2009/02/23 15時48分06秒 JST

クリック



Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベース・インスタンス: ora11107 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

ホーム パフォーマンス 可用性 **サーバー** スキーマ データ移動 ソフトウェアとサポート

バックアップ/リカバリ

設定 バックアップ設定 リカバリ設定 リカバリ・カタログ設定	管理 バックアップのスケジュール 現行バックアップの管理 バックアップ・レポート リスト・ポイントを管理 リカバリの実行 トランザクションの表示と管理	Oracle Secure Backup Oracle Secure Backup デバイスおよびメディア ファイルシステムのバックアップおよびリストア
---	---	--

関連リンク

EMのSQL履歴 アドバイザ・セントラル ジョブ ターゲット・プロパティ ポリシー・グループ メモリー・アクセス・モードで監視	SQLワークシート アラート・ログの内容 スケジューラ・セントラル ブロッカアウト ストリックとポリシー設定 ユーザー定義ストリック	アクセス アラート履歴 すべてのストリック ベースライン・ストリックしきい値 ストリック収集エラー 監視構成
--	---	---

データベース | 設定 | プリファレンス | ヘルプ | ログアウト

Copyright (c) 1996, 2008, Oracle. All rights reserved.
Oracle, JD Edwards, PeopleSoftおよびReteckはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
Oracle Enterprise Managerバージョン情報

バックアップ/リカバリ

設定

バックアップ設定

リカバリ設定

リカバリ・カタログ設定

クリック

ARCHIVELOG モードへ変更します

Oracle Enterprise Manager (SYS) - リカバリ設定 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > SYSとしてログイン

リカバリ設定

SQL表示 元に戻す **適用**

インスタンス・リカバリ

FAST_START_MTTR_TARGET初期化パラメータは、クラッシュ・リカバリの見積り秒数を指定します。Oracleでは、この数値が内部パラメータ・セットに変換され、リカバリ時間がこれらのパラメータにできるだけ近い値に設定されます。FAST_START_MTTR_TARGETを0(ゼロ)に設定すると、この機能は無効化されます。

現行の見積り平均リカバリ時間(秒) 33

平均リカバリ時間の指定(FAST_START_MTTR_TARGET) 0 分

メディア・リカバリ

データベースは現在NOARCHIVELOGモードです。ARCHIVELOGモードでは、最新時間へのホット・バックアップおよびリカバリが可能です。ログ用の領域を提供する必要があります。データベースをARCHIVELOGモードに変更した場合、ただちにバックアップを取ります。NOARCHIVELOGモードでは、コールド・バックアップのみ可能で、データベースが破損するとデータが消失する可能性があります。

ARCHIVELOGモード*

ログのアーカイブ・ファイル名の書式* ARC%S_%R.%T

アーカイブ・ログ・ファイルのネーミング規則です。%s: ログ順序番号、%t: スレッド

番号 アーカイブ・ログの保存先

クリック

クリック

チェックを入れる

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 確認 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

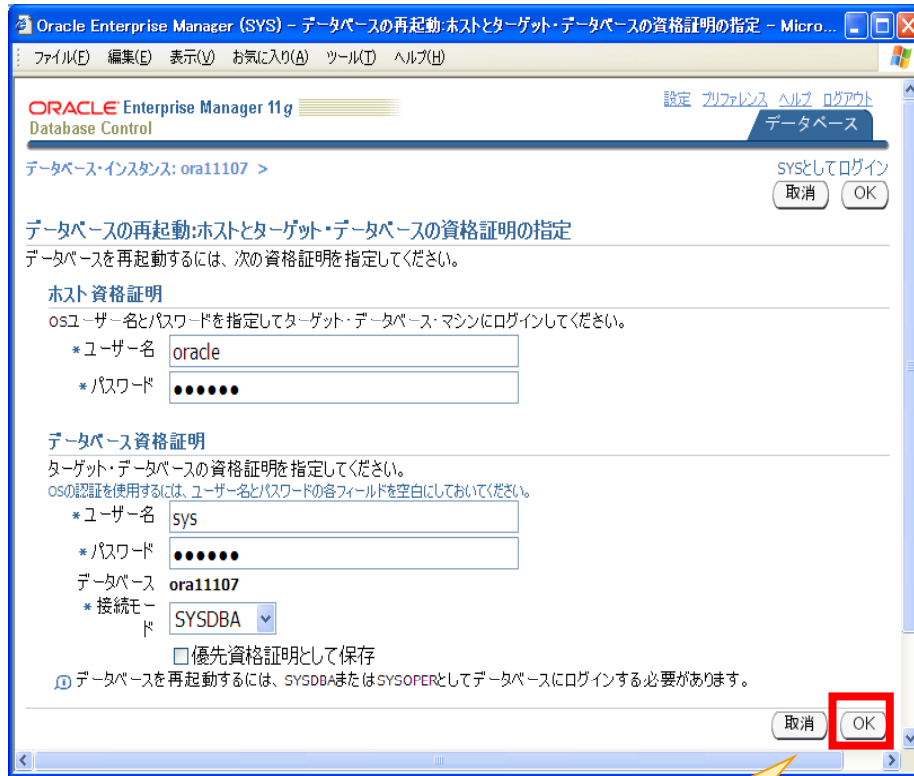
データベース・インスタンス: ora11107 > SYSとしてログイン

確認

変更は正常に完了しました。ただし、変更を実装するにはデータベースを再起動する必要があります。ただちにデータベースを再起動しますか。データベースの再起動後、データベース全体のバックアップをすぐに作成することもあわせてお薦めします

いいえ **はい**

データベースの資格証明の指定 ~ データベースの再起動



Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベースの再起動:ホストとターゲット・データベースの資格証明の指定 - Micro...

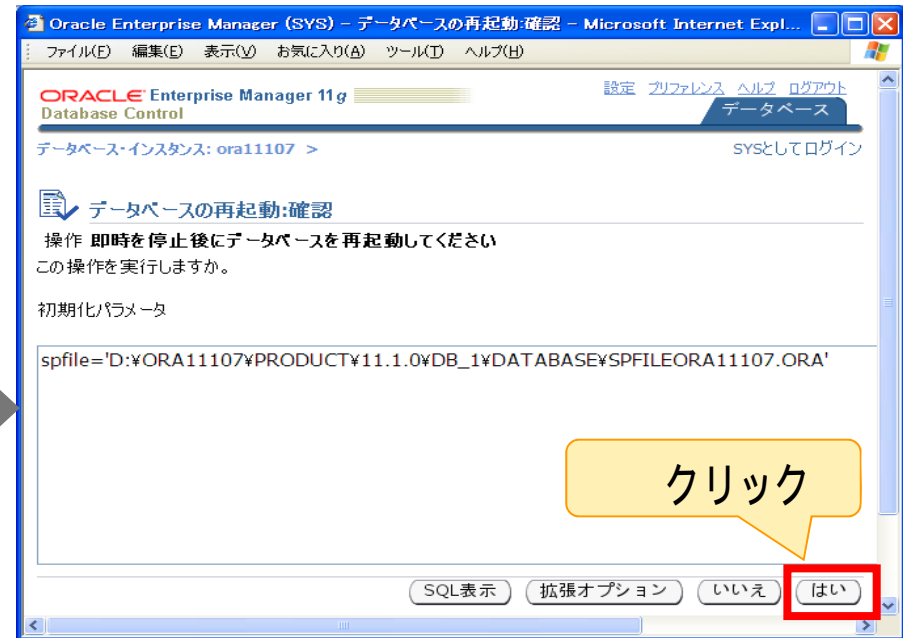
ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > sysとしてログイン

データベースの再起動:ホストとターゲット・データベースの資格証明の指定
データベースを再起動するには、次の資格証明を指定してください。

ホスト資格証明
osユーザー名とパスワードを指定してターゲット・データベース・マシンにログインしてください。
*ユーザー名
*パスワード

データベース資格証明
ターゲット・データベースの資格証明を指定してください。
osの認証を使用するには、ユーザー名とパスワードの各フィールドを空白にしてください。
*ユーザー名
*パスワード
データベース ora11107
*接続モード
 優先資格証明として保存
① データベースを再起動するには、SYSDBAまたはSYSOPERとしてデータベースにログインする必要があります。

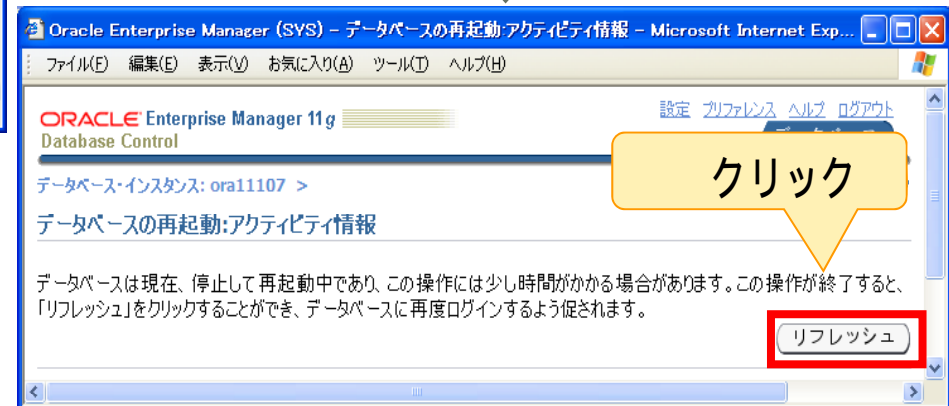


Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベースの再起動:確認 - Microsoft Internet Expl...

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > sysとしてログイン

データベースの再起動:確認
操作 即時を停止後にデータベースを再起動してください
この操作を実行しますか。
初期化パラメータ
spfile='D:\ORA11107\PRODUCT\11.1.0\DATABASE\SPFILEORA11107.ORA'



Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベースの再起動:アクティビティ情報 - Microsoft Internet Exp...

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 >

データベースの再起動:アクティビティ情報

データベースは現在、停止して再起動中であり、この操作には少し時間がかかる場合があります。この操作が終了すると、「リフレッシュ」をクリックすることができ、データベースに再度ログインするよう促されます。

Enterprise Managerに再度ログインし、データベースの「ホーム」ページに戻ります。



クリック

ARCHIVELOGモードに変更されて、「ホーム」ページに戻ります



データベース作成後の主な設定

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
 - データベースの停止と開始
 - データベース運用モード
(ARCHIVELOGモードとNOARCHIVELOGモード)
 - 初期化パラメータの確認
 - 自動メモリー管理
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ

初期化パラメータとは？

初期化パラメータは様々な機能グループに分類される

- データベース全体の制限を設定する
- ユーザーまたはプロセスの制限を設定する
- データベース・リソースに制限を設定する
- パフォーマンスを制御する

パラメータ・ファイルに初期化パラメータのリストおよび各パラメータの値を格納

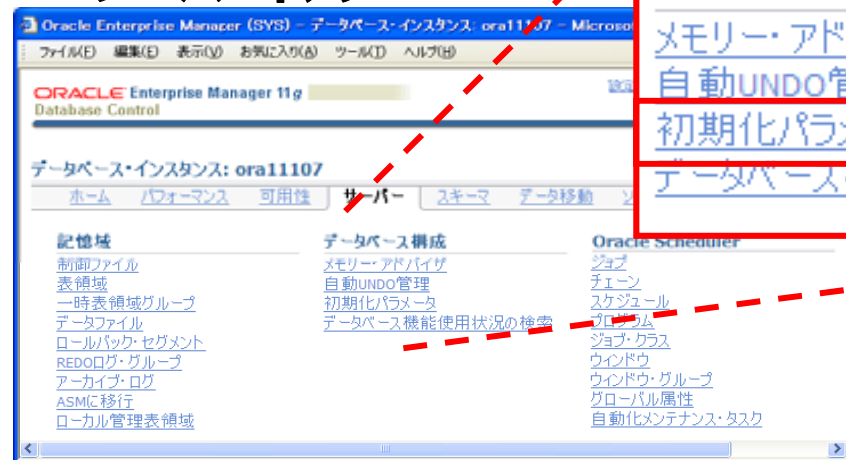


現在のパラメータを確認してみます

- 「ホーム」ページ



- 「サーバー」タブ



現在のパラメータの一覧が表示されます

• 初期化パラメータの一覧

初期化パラメータの一覧
現在起動中のデータベース
で使用されているパラメータ
値が表示されます

値の絞込み
「MEMORY_TARGET」
を入力

クリック

自動メモリー管理が
有効になっている

名前	ヘルプ	改訂	値	コメント	タイプ	基本	変更済	動的	カテゴリ
memory_target			816M		Big Integer	✓	✓	✓	メモリー

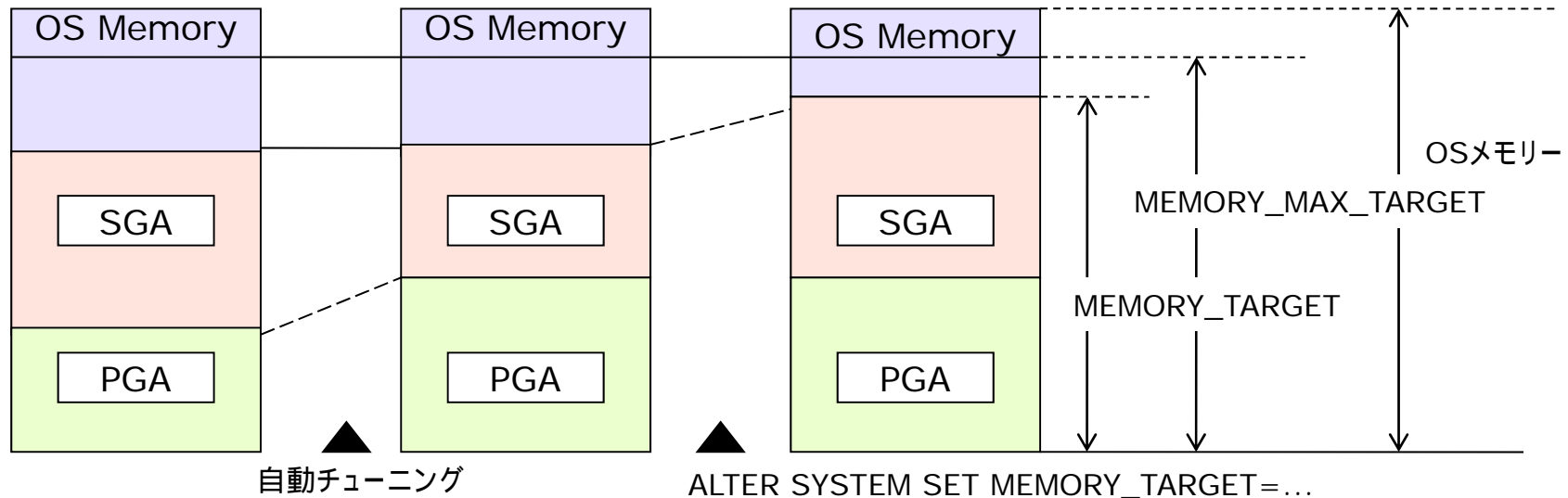
データベース作成後の主な設定

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
 - データベースの停止と開始
 - データベース運用モード
(ARCHIVELOGモードとNOARCHIVELOGモード)
 - 初期化パラメータの確認
 - **自動メモリー管理**
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ

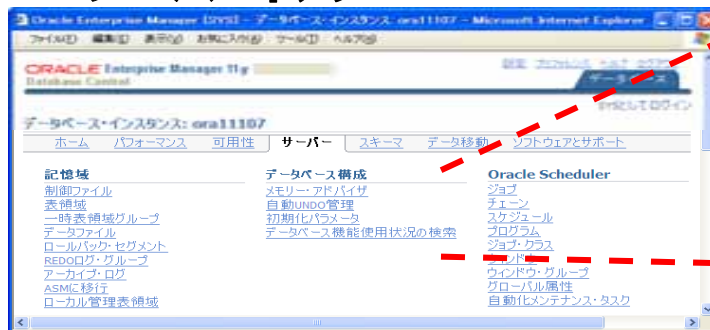
自動メモリー管理 とは？

Oracle Database 11g パラメータは"1"つ

✓ MEMORY_TARGET初期化パラメータ(SGAもPGAも自動拡張、自動縮小)



・「サーバー」タブ

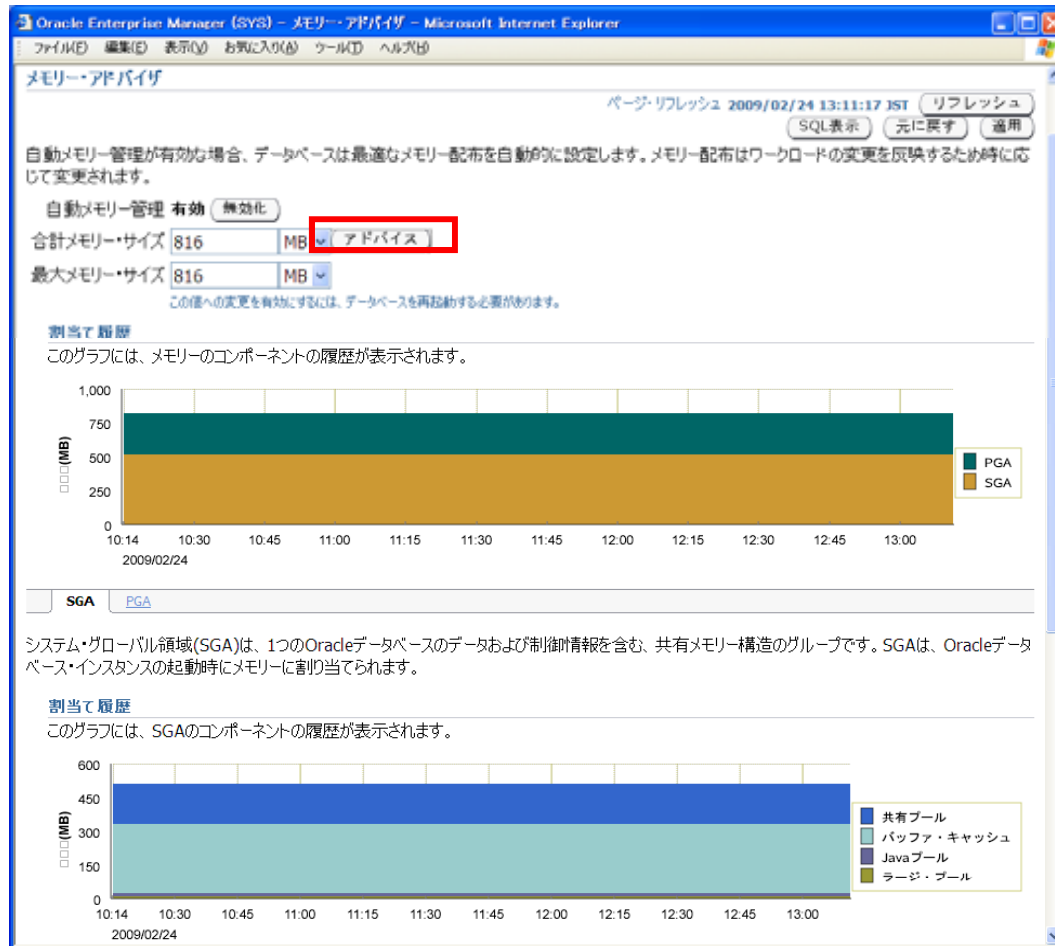


データベース構成
メモリー・アドバイザ
自動UNDO管理
初期化パラメータ
データベース機能使用状況の検索

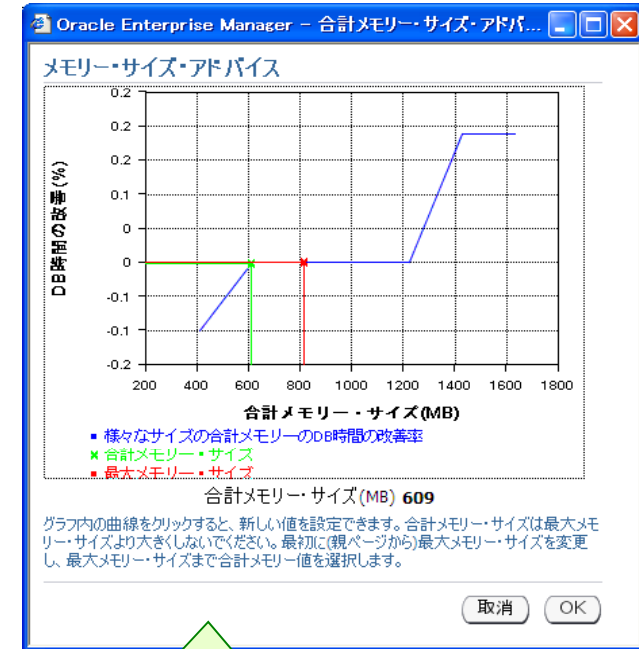
クリック

ORACLE

現在のメモリーの割り当て状況を確認できます



メモリー・サイズ・アドバイ画面

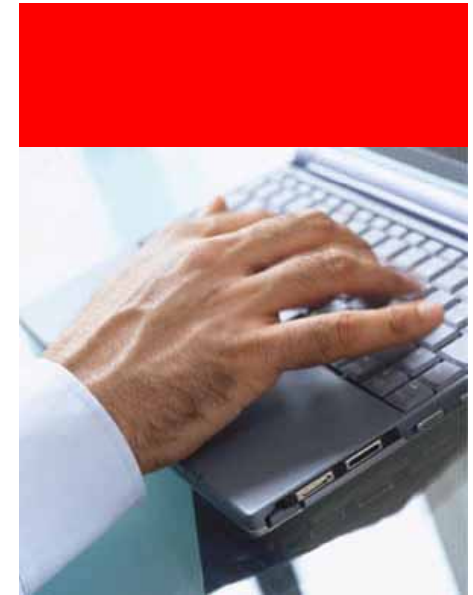


グラフを直接クリックして、新しい値を設定可能

指定メモリー・アドバイザを利用して合計メモリー・サイズを指定してみましょう！

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- **データベースユーザの管理**
 - ロックされているアカウントの解除
 - ユーザの作成
 - 権限の付与
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ



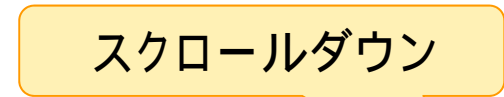
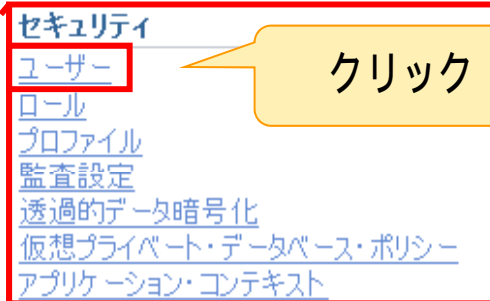
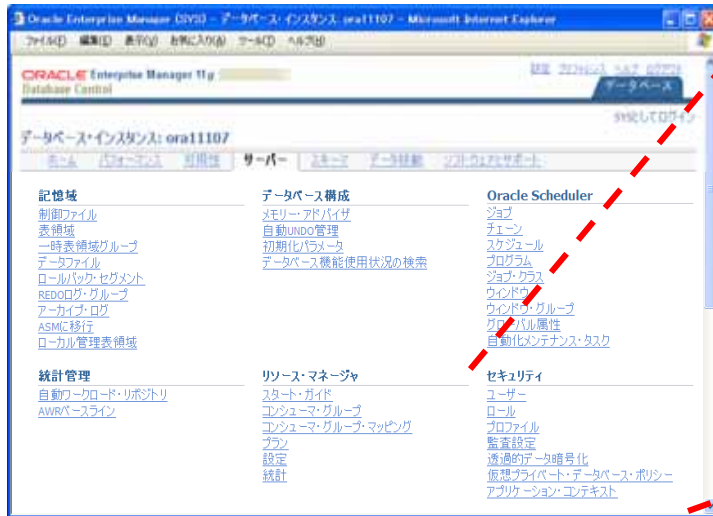
無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
- MySQLからの移行相談
- PostgreSQLからの移行相談
- Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
- メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

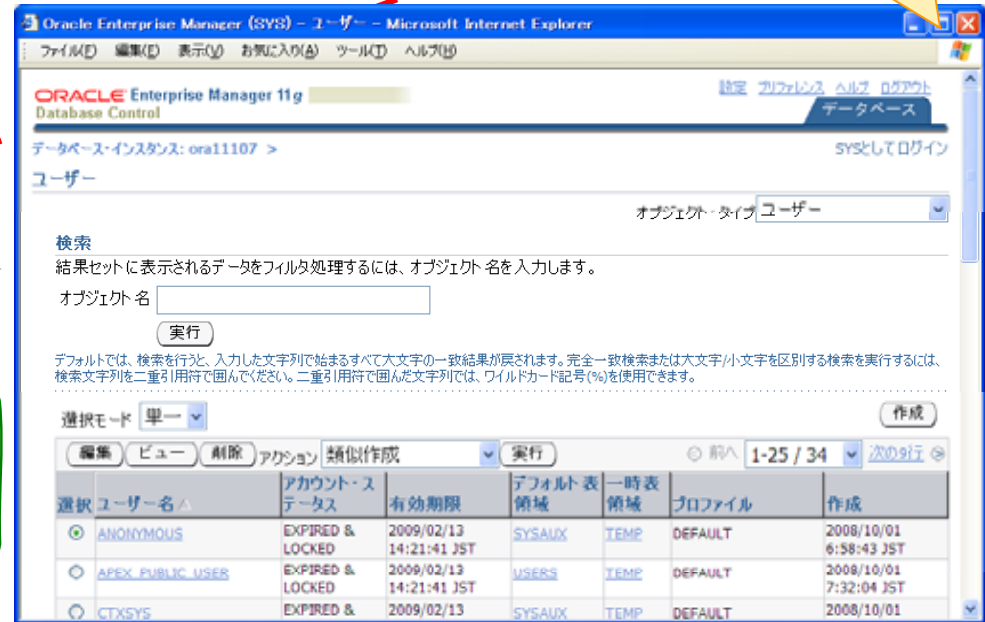
ORACLE

「SCOTT」ユーザーのロックを解除します



ユーザーの一覧画面が表示

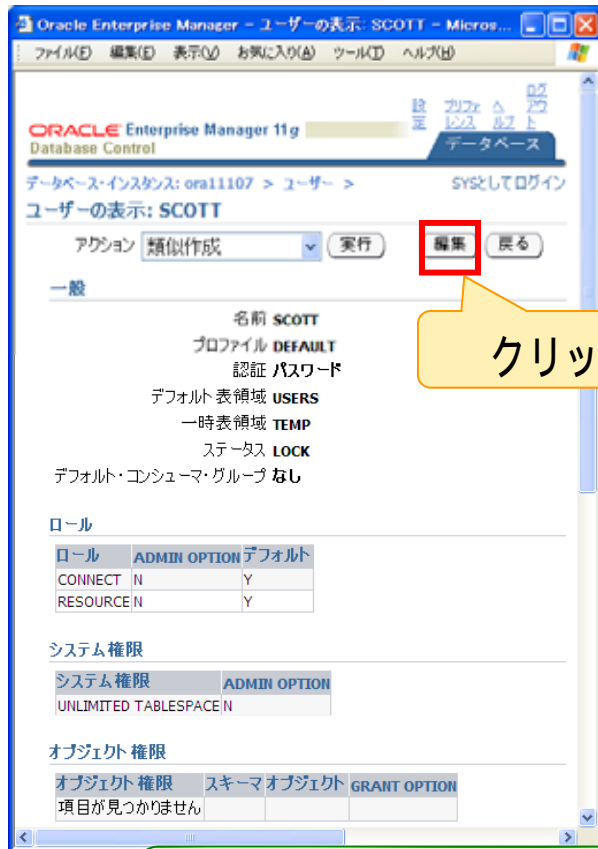
「SCOTT」ユーザのステータス「EXPIRED&LOCEKED」ロックされている状態



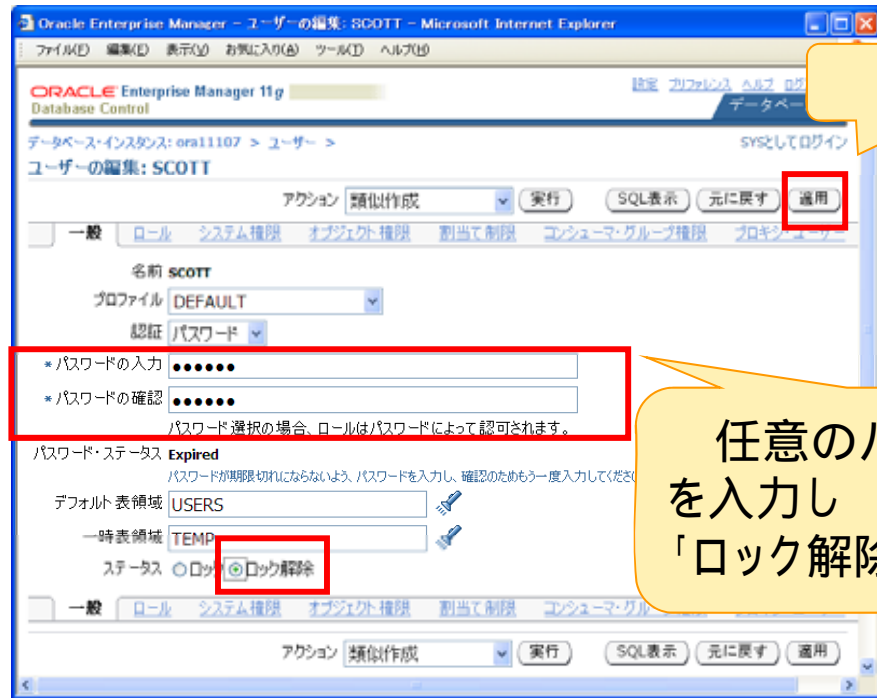
クリック

<input type="radio"/>	PUBLIC	OPEN					
<input type="radio"/>	SCOTT	EXPIRED & LOCKED	2009/02/13 14:21:41 JST	USERS	TEMP	DEFAULT	2008/10/01 7:57:40 JST
<input type="radio"/>	SI_INFORMTN_SCHEMA	EXPIRED &	2009/02/13	SYSAUX	TEMP	DEFAULT	2008/10/01

「SCOTT」ユーザの編集をします



クリック

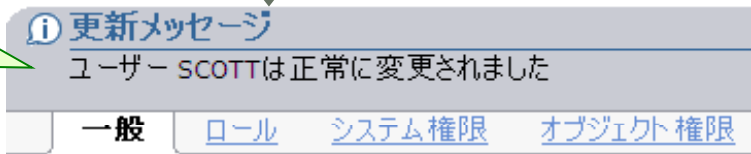


クリック

任意のパスワード
を入力し
「ロック解除」を選択

「SCOTT」ユーザ
の編集が完了

アカウントのロックが
解除されている



<input type="radio"/>	SCOTT	OPEN	2009/08/23 16:15:19 JST	USERS	TEMP	DEFAULT	2008/10/01 7:57:40 JST
-----------------------	-------	------	-------------------------	-------	------	---------	------------------------



ユーザーを作成します

今回は例として「ORADIRECT」という名前のユーザーを作成します

セキュリティ

- ユーザー
- ロール
- プロファイル
- 監査設定
- 透過的データ暗号化
- 仮想プライベート・データベース・ポリシー
- アプリケーション・コンテキスト

クリック

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

ナビゲーションメニュー

- 記憶域
- 制御ファイル
- 表領域
- 一時表領域グループ
- データファイル
- ローカルバックセグメント
- REDOログ・グループ
- アーカイブ・ログ
- ASMに移行
- ローカル管理表領域

データベース側

- データベース側
- メモリアドバイス
- 自動UNDO管理
- 初期化パラメータ
- データベース機能使用状況の検索

Oracle Scheduler

- ジョブ
- ジョブチェーン
- スケジュール
- プログラム
- ジョブ・クラス
- ウィンドウ
- ウィンドウ・グループ
- グローバル属性
- 自動化メンテナンス・タスク

リソース・マネージャ

- スタートガイド
- コンシューマ・グループ
- コンシューマ・グループ・マッピング
- プラン
- 設定
- 統計

セキュリティ

- ユーザー
- ロール
- プロファイル
- 監査設定
- 透過的データ暗号化
- 仮想プライベート・データベース・ポリシー
- アプリケーション・コンテキスト

Oracle Enterprise Manager (SYS) - ユーザー - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース

データベース・インスタンス: ora11107 > sysとしてログイン

ユーザー

オブジェクト・タイプ ユーザー

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、オブジェクト名を入力します。

オブジェクト名

実行

デフォルトでは、検索を行うと、入力した文字列で始まるすべて大文字の一致結果が戻されます。完全一致検索または大文字/小文字を区別する検索も実行できます。検索文字列を二重引用符で囲んでください。二重引用符で囲んだ文字列では、ワイルドカード記号(*)を使用できます。

選択モード 単一

編集 ビュー 削除 アクション 類似作成 実行

選択	ユーザー名 ▲	アカウント・ステータス	有効期限	デフォルト表領域	一時表領域	プロファイル	作成
<input checked="" type="radio"/>	ANONYMOUS	EXPIRED & LOCKED	2009/02/13 14:21:41 JST	SYSAUX	TEMP	DEFAULT	2008/10/01 6:58:43 JST
<input type="radio"/>	APEX_PUBLIC_USER	EXPIRED & LOCKED	2009/02/13 14:21:41 JST	USERS	TEMP	DEFAULT	2008/10/01 7:32:04 JST
<input type="radio"/>	CTXSYS	EXPIRED &	2009/02/13	SYSAUX	TEMP	DEFAULT	2008/10/01

作成

ユーザー情報を入力します

Oracle Enterprise Manager 11g
Database Control
データベース
データベース・インスタンス: or
ユーザーの作成
SYSとしてログイン
SQL表示 取消 OK

一般 **ロール** システム権限 オブジェクト権限 割当て制限 コンシューマ・グループ権限 プロキシ・ユーザー

* 名前 ORADIRECT
プロファイル DEFAULT
認証 パスワード
* パスワードの入力 ●●●●●●
* パスワードの確認 ●●●●●●
パスワード選択の場合、ロールはパスワードによって認可されます。
 期限切れパスワード
デフォルト表領域 USERS
一時表領域 TEMP
ステータス ロック ロック解除

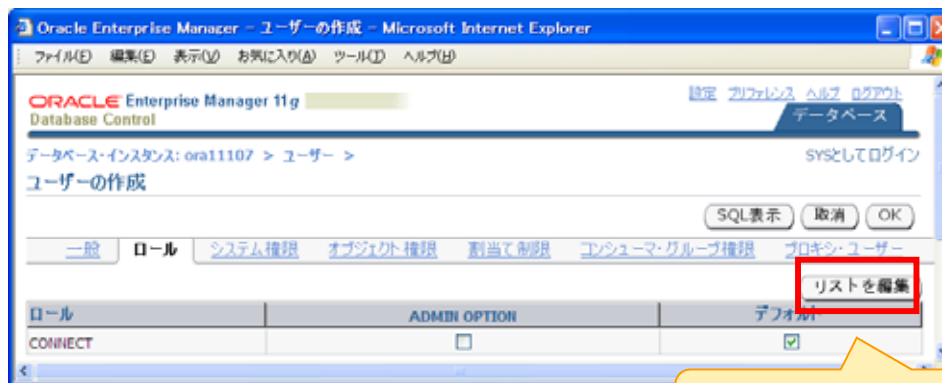
ユーザー情報の入力内容

項目名	入力内容
名前	ORADIRECT
プロファイル	DEFAULT
認証	パスワード
期限切れパスワード	チェックしない
デフォルト表領域	USERS
一時表領域	TEMP
ステータス	ロック解除

ユーザー情報の入力

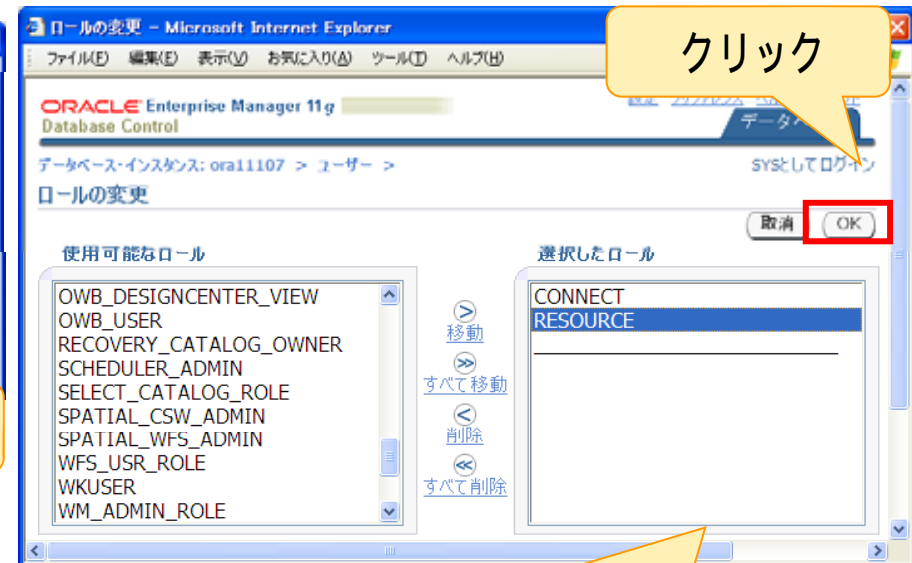
ロールを付与します

- **ロールとは？** 特定の権限の集合を持つユーザーの論理グループです
- システム権限: データベースで何の操作を行えるか (CREATE TABLE権限など)
- オブジェクト権限: 他のスキーマ・オブジェクトへのアクセスを許可 (SELECT権限など)



クリック

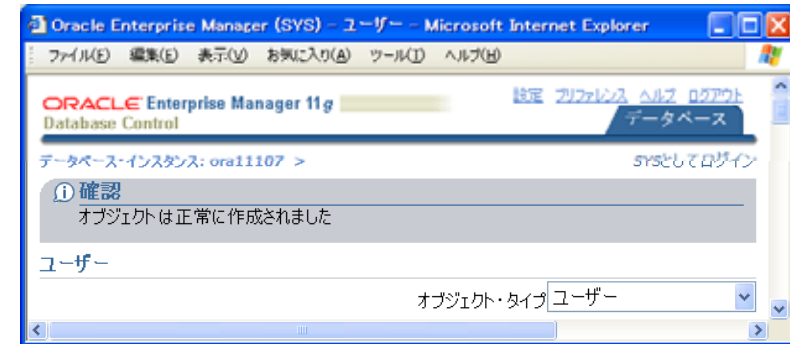
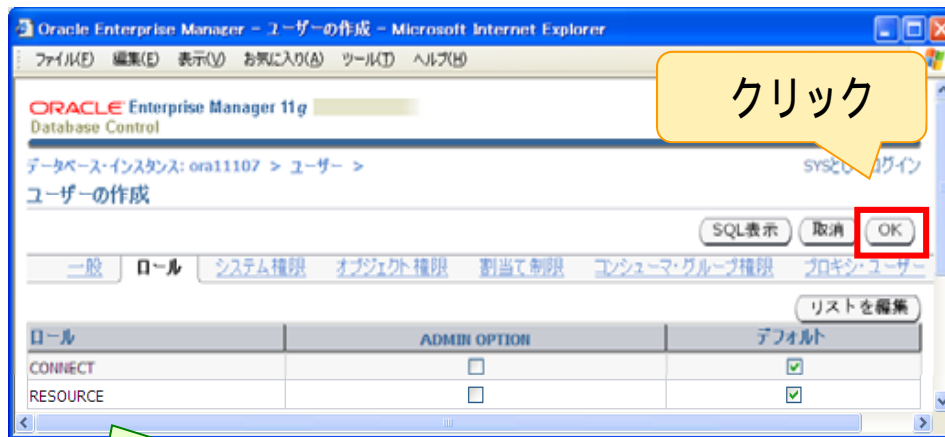
CONNECTロールのみが
付与されている状態



クリック

使用可能なロールから
RESOURCEロールを選択して、
「移動」をクリック

作成したユーザ情報を確認します

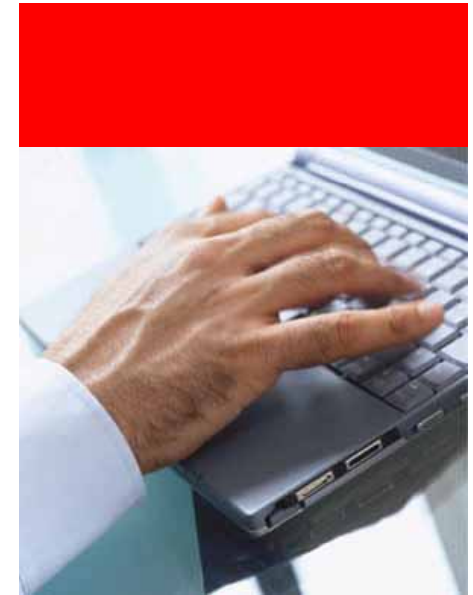


CONNECTロールと
RESOURCEロールが
付与されている状態

オブジェクト名に「ORADIRECT」
を入力し、「実行」をクリックすると
作成したユーザーの情報を確認
できます

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- **表定義とデータの確認**
 - 表定義の確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ



無償技術サービスOracle Direct Concierge

- ・SQL Serverからの移行アセスメント
- ・MySQLからの移行相談
- ・PostgreSQLからの移行相談
- ・Accessからの移行アセスメント
- ・Oracle Database バージョンアップ支援
- ・Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - ・パフォーマンス・クリニック
 - ・Oracle Database 構成相談
- ・Oracle Database 高可用性診断
 - ・システム連携アセスメント
 - ・システムセキュリティ診断
 - ・簡易業務診断
- ・メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

表定義とデータの確認方法

表定義とデータの確認

- 列名
- データ型、サイズ
- 格納されているデータ

- 表定義やデータを確認するには、以下のようにいくつかのツール・手段があります

- SQL*Plus
- Enterprise Manager
- SQL ワークシート
- SQL Developer
- Oracle Database Easy Control Manager

(OTN Japanよりダウンロード提供)

SCOTTスキーマのEMP表の定義を確認します

Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベース・オブジェクト

データベース・オブジェクト

- 表
- 索引
- ビュー
- シノニム
- 順序
- データベース・リンク
- ディレクトリ・オブジェクト
- オブジェクトの再編成

クリック

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 表 - Microsoft Internet Explorer

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

表

オブジェクト・タイプ: 表

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、スキーマ名とオブジェクト名を入力してください。

スキーマ: SCOTT

実行

スキーマの欄に「SCOTT」を入力し、「実行」をクリック

選択	スキーマ	表名	表領域	パーティション化	行	最後の分析
	検索が実行されていません					

EMP表を選択し、表定義が確認できます

表定義を確認できます

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 表 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 >

表

オブジェクト・タイプ: 表

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、スキーマ名とオブジェクト名を入力してください

スキーマ: SCOTT

オブジェクト名:

実行

選択モード: 単一

編集 ビュー オプションを指定して削除 アクション: 類似作成

選択	スキーマ	表名	表領域	パーティション化	行
<input type="radio"/>	SCOTT	BONUS	USERS	NO	
<input type="radio"/>	SCOTT	DEPT	USERS	NO	
<input checked="" type="radio"/>	SCOTT	EMP	USERS	NO	
<input type="radio"/>	SCOTT	SALGRADE	USERS	NO	

表名「EMP」を選択し、「ビュー」をクリック

Oracle Enterprise Manager - 表ビュー - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > 表 >

表の表示: SCOTT . EMP

アクション: 類似作成 実行 編集 OK

一般

名前: EMP
スキーマ: SCOTT
表領域: USERS
編成: 標準(ヒープ構成)

列

	名前	データ型	サイズ	スケール	NOT NULL	デフォルト値	暗号化
PK	EMPNO	NUMBER	4		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	ENAME	VARCHAR2	10		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	JOB	VARCHAR2	9		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	MGR	NUMBER	4		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	HIREDATE	DATE			<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	SAL	NUMBER	7	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	COMM	NUMBER	7	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	DEPTNO	NUMBER	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

PK 主キー列の指定
一意キー列の指定
セキュア・ファイルのLOB列を示します

更にEMP表のデータを見てみます

「データの表示」を
選び「実行」をクリック

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control
データベース・インスタンス: ora11107 > 表 >
表の表示: SCOTT . EMP

アクション: データの表示 (実行)

問合せ: SELECT "EMPNO", "ENAME", "JOB", "MGR", "HIREDATE", "SAL", "COMM", "DEPTNO" FROM "SCOTT"."EMP"

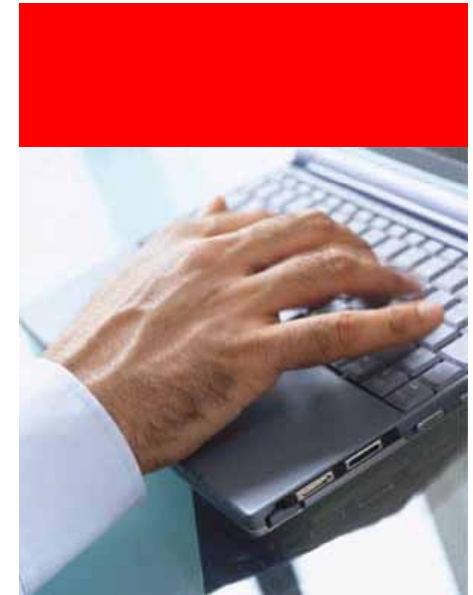
結果

EMPNO	ENAME	JOB	MGR	HIREDATE	SAL	COMM	DEPTNO
7369	SMITH	CLERK	7902	1980-12-17 00:00:00.0	800		20
7499	ALLEN	SALESMAN	7698	1981-02-20 00:00:00.0	1600	300	30
7521	WARD	SALESMAN	7698	1981-02-22 00:00:00.0	1250	500	30
7566	JONES	MANAGER	7839	1981-04-02 00:00:00.0	2975		20
7654	MARTIN	SALESMAN	7698	1981-09-28 00:00:00.0	1250	1400	30
7698	BLAKE	MANAGER	7839	1981-05-01 00:00:00.0	2850		30
7782	CLARK	MANAGER	7839	1981-06-09 00:00:00.0	2450		10
7788	SCOTT	ANALYST	7566	1987-04-19 00:00:00.0	3000		20
7839	KING	PRESIDENT		1981-11-17 00:00:00.0	5000		10
7844	TURNER	SALESMAN	7698	1981-09-08 00:00:00.0	1500	0	30
7876	ADAMS	CLERK	7788	1987-05-23 00:00:00.0	1100		20
7900	JAMES	CLERK	7698	1981-12-03 00:00:00.0	950		30
7902	FORD	ANALYST	7566	1981-12-03 00:00:00.0	3000		20
7934	MILLER	CLERK	7782	1982-01-23 00:00:00.0	1300		10

EMP表のデータと
問い合わせに使われた
SQL文が表示されます

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表定義とデータの確認
- **表と索引の作成**
 - 表の作成
 - 索引の作成
- データ入力と確認
- まとめ



無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
- MySQLからの移行相談
- PostgreSQLからの移行相談
- Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
- メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

表の作成について

- 表作成時に指定するもの
 - 表名
 - 列名(格納項目)
 - データ型、サイズ(どんな種類のデータが、どれくらい入るのか)
 - 制約(格納するデータに対するビジネス・ルール)

ORDERS			
ORDER_ID	ORDER_DATE	CUST_NAME	AMOUNT
1	2008-12-05	たなか	30000
2	2008-12-05	すずき	25000
3	2008-12-09	さとう	20000
4	2008-12-09	よしだ	20000
5	2008-12-10	こばやし	15000

各行を識別するためのID

AMOUNTは0以上

↑ 数字 (NUMBER型)
↑ 日付 (DATE型)
↑ 文字 (VARCHAR2型)

表を作成します

データベース・オブジェクト

- 表
- 索引
- ビュー
- シノニム
- 順序
- データベース・リンク
- ディレクトリ・オブジェクト
- オブジェクトの再編成

クリック

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 表 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > 表

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、スキーマ名とオブジェクト名を入力してください。

スキーマ: SYS

オブジェクト名

実行

作成

- **標準(ヒープ構成):** 普通の表
- **一時:** トランザクション/セッション単位でデータを保持する一時
- **索引構成表:** 索引構造をした表(物理的に主キー順に並んでいるため、主キーでの検索が早い)

表を作成: 表編成

表構成を指定すると、Oracleにメモリーへの表の格納方法が指示されます。表作成の最初のステップでは、使用する構成を決定します。

標準(ヒープ構成)

一時

索引構成表(IOT)

取消 続行

デフォルトのまま「続行」をクリック

ORACLE

作成する表の表定義を入力します

Oracleで使用可能なデータ型

- **数字型**
NUMBER (38桁までの数値データ)
- **文字型**
VARCHAR2 (最大4000バイト/可変長)
CHAR (最大2000バイト/固定長)
- **日付型**
DATE (年月日時分秒の日付データ)
TIMESTAMP (時差を含む日付データ)
- **LOB型**
CLOB (4Gまでのテキストデータ)
BLOB (4Gまでのバイナリデータ)

クリック

表名を入力し、
スキーマと表領域
を指定

列名、データ型、
サイズを入力

表の列を追加したい時は
「5列追加」をクリック

NOT NULL制約
にチェック

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control

データベース-インスタンス: ora11107 > 表の作成

表名: EMPLOYEES
スキーマ: ORADIRECT
表領域: USERS

選択	名前	データ型	サイズ	スケール	NOT NULL	デフォルト値	暗号化
<input checked="" type="radio"/>	EMPLOYEE_ID	NUMBER	6		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	FIRST_NAME	VARCHAR2	20		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	LAST_NAME	VARCHAR2	25		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	EMAIL	VARCHAR2	25		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	PHONE_NUMBER	VARCHAR2	20		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	HIRE_DATE	DATE			<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	JOB_ID	VARCHAR2	10		<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	SALARY	NUMBER	8		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	COMMISSION_PCT	NUMBER	2		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	MANAGER_ID	NUMBER	6		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

ORACLE

補足資料: 設定した表定義

- 表名: EMPLOYEES
- スキーマ: ORADIRECT
- 表領域: USERS

列名	データ型	サイズ	Not Null	Primary Key
EMPLOYEE_ID	NUMBER	6		
FIRST_NAME	VARCHAR2	20		
LAST_NAME	VARCHAR2	25		
EMAIL	VARCHAR2	25		
PHONE_NUMBER	VARCHAR2	20		
HIRE_DATE	DATE			
JOB_ID	VARCHAR2	10		
SALARY	NUMBER	8		
COMMISSION_CPT	NUMBER	2		
MANAGER_ID	NUMBER	6		
DEPARTMENT_ID	NUMBER	4		

主キー制約を追加します



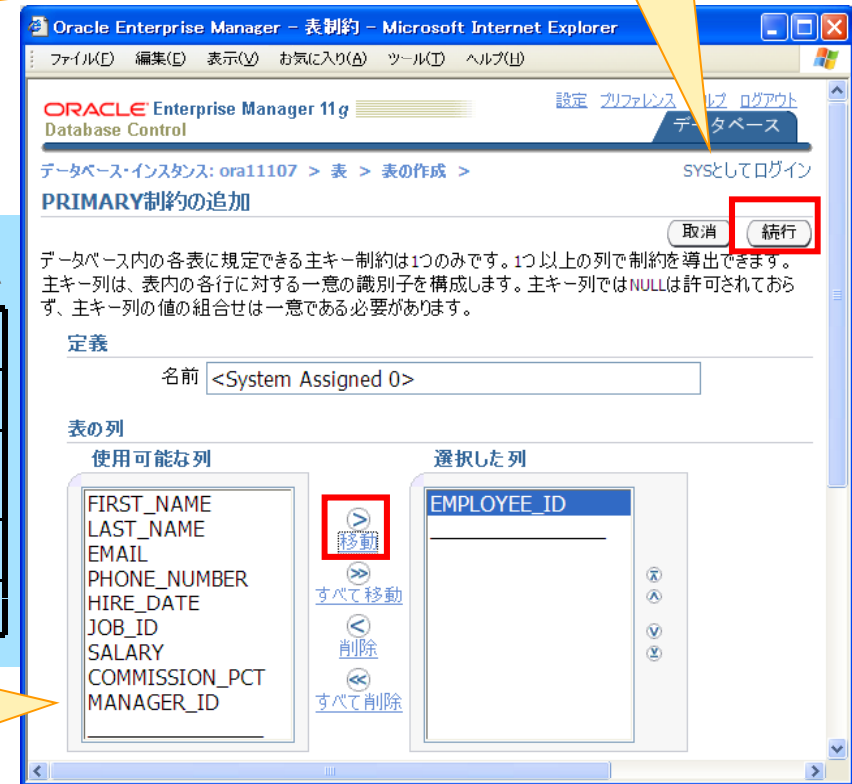
「PRIMARY」を選択し、「追加」をクリック

「続行」をクリック

Oracleで使える制約

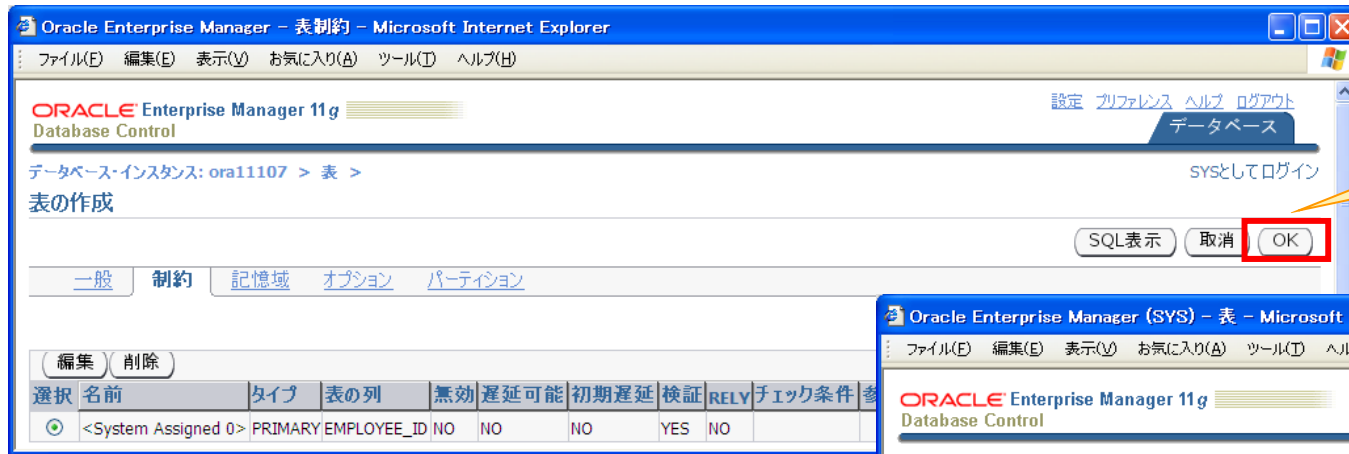
PRIMARY KEY (主キー)	行を一意に特定する(一意 + NOT NULL)
NOT NULL	その列には必ずデータが入ることを保証
FOREIGN KEY (外部キー)	他の表との参照関係を定義し、関連表の間でのデータの整合性を保証
UNIQUE (一意キー)	その列のデータが重複しないことを保証
CHECK制約	その他条件(給与が0以上であるなど)

「EMPLOYEE ID」を選択し、「移動」をクリック

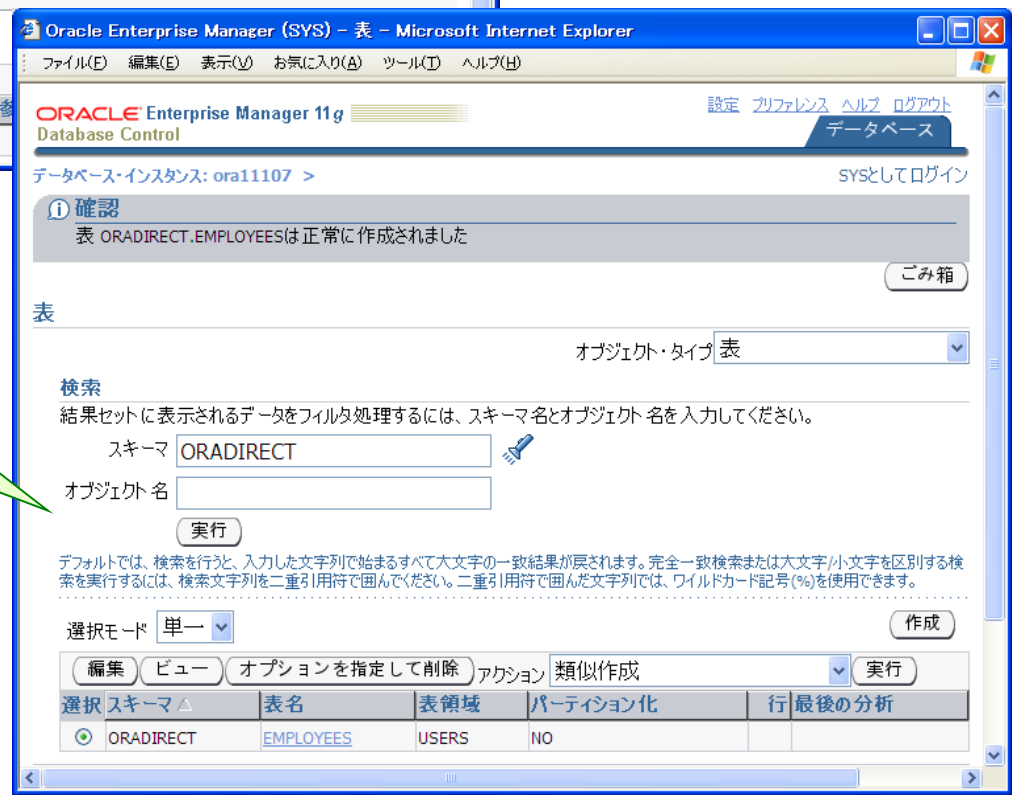


ORACLE

表の作成 4



新しい表「EMPLOYEES」
が作成されました



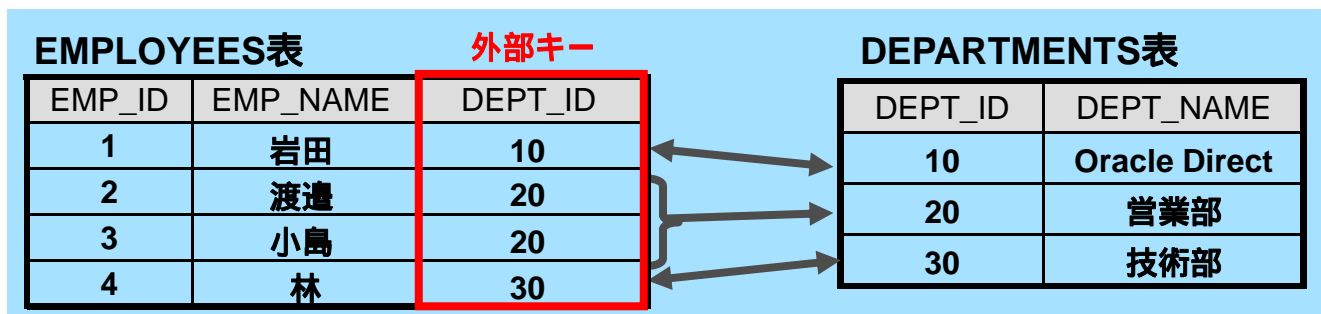
DEPARTMENTS表を作成します

同様の方法で、DEPARTMENTS表を作成してみてください
今回は、以下の内容でDEPARTMENTS表を作成しています

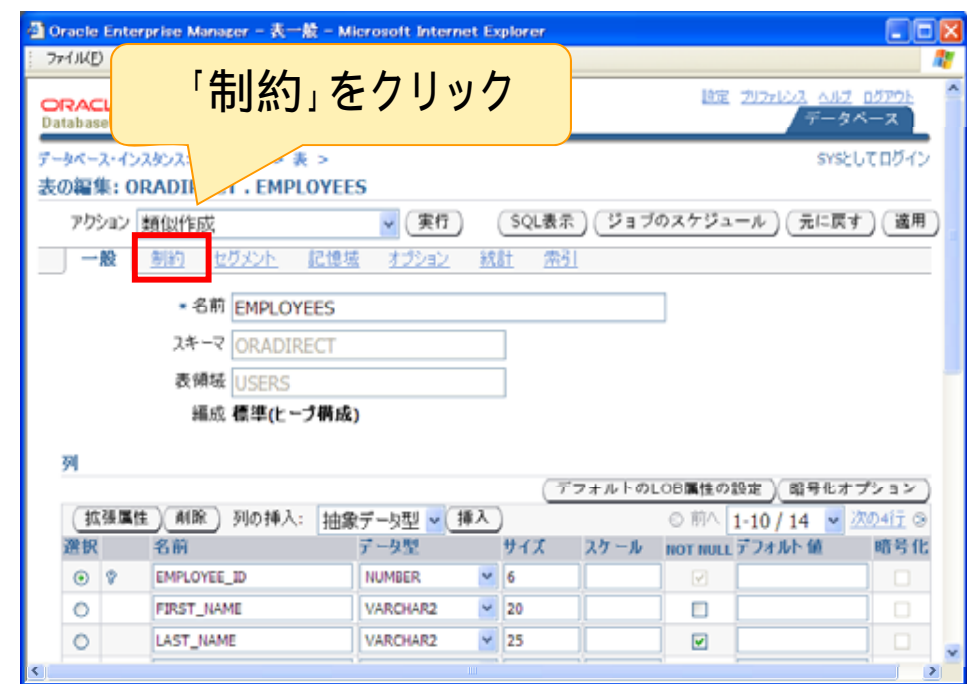
- 表名: DEPARTMENTS
- スキーマ: ORADIRECT
- 表領域: USERS

列名	データ型	サイズ	Not Null	Primary Key
DEPARTMENT_ID	NUMBER	4		
DEPARTMENT_NAME	VARCHAR2	30		
MANAGER_ID	NUMBER	6		
LOCATION_ID	NUMBER	4		

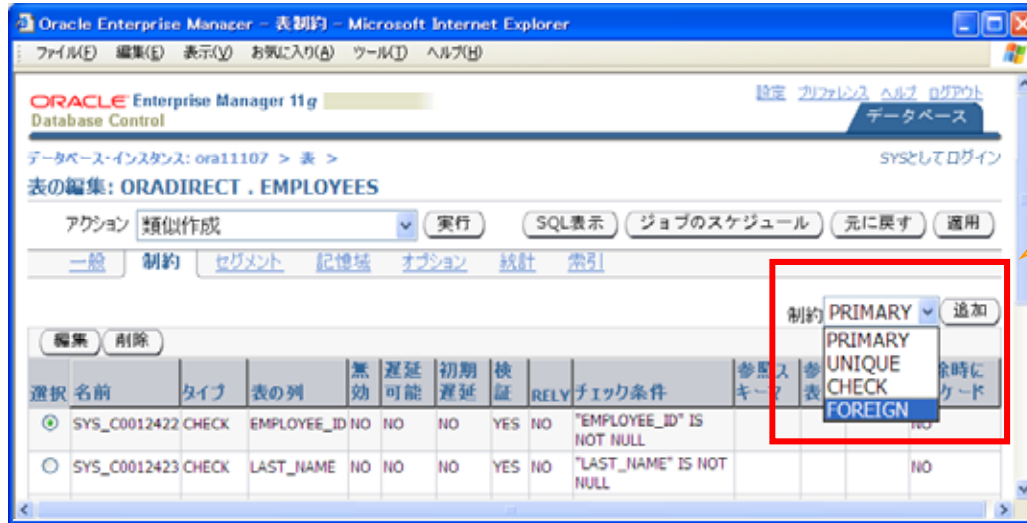
表と表の関連付けを設定します



EMPLOYEES表
を選択し「編集」を
クリック



外部キーを追加します



「FOREIGN」を選択し、「追加」をクリック

「続行」をクリック

FOREIGN制約の追加
表の「使用可能な列」に DEPARTMENT_ID を選択し、参照表の「使用可能な列」に DEPARTMENTS 表の DEPARTMENT_ID を選択



外部キーの追加を適用します

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control
データベース・インスタンス: ora11107 > 表 > SYSとしてログイン
表の編集: ORADIRECT . EMPLOYEES

アクション: 類似作成 [実行] [SQL表示] [ジョブのスケジュール] [元に戻す] **[適用]**

選択	名前	タイプ	表の列	無効	遅延可能	初期遅延	検証	RELY	チェック条件	参照スキーマ	参照表	参照表の列	削除時にカスケード
<input type="radio"/>	SYS_C0012422	CHECK	EMPLOYEE_ID	NO	NO	NO	YES	NO	"EMPLOYEE_ID" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012423	CHECK	LAST_NAME	NO	NO	NO	YES	NO	"LAST_NAME" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012424	CHECK	EMAIL	NO	NO	NO	YES	NO	"EMAIL" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012425	CHECK	HIRE_DATE	NO	NO	NO	YES	NO	"HIRE_DATE" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012426	CHECK	JOB_ID	NO	NO	NO	YES	NO	"JOB_ID" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012427	PRIMARY	EMPLOYEE_ID	NO	NO	NO	YES	NO					NO
<input checked="" type="radio"/>	<System Assigned 6>	FOREIGN	EMPLOYEE_ID	NO	NO	NO	YES	NO		ORADIRECT			NO

「適用」をクリック

FOREIGN制約が作成されました

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control
データベース・インスタンス: ora11107 > 表 > SYSとしてログイン
表の編集: ORADIRECT . EMPLOYEES

アクション: 類似作成 [実行] [SQL表示] [ジョブのスケジュール] [元に戻す] [適用]

更新メッセージ
表 ORADIRECT.EMPLOYEESは正常に変更されました

制約: PRIMARY [追加]

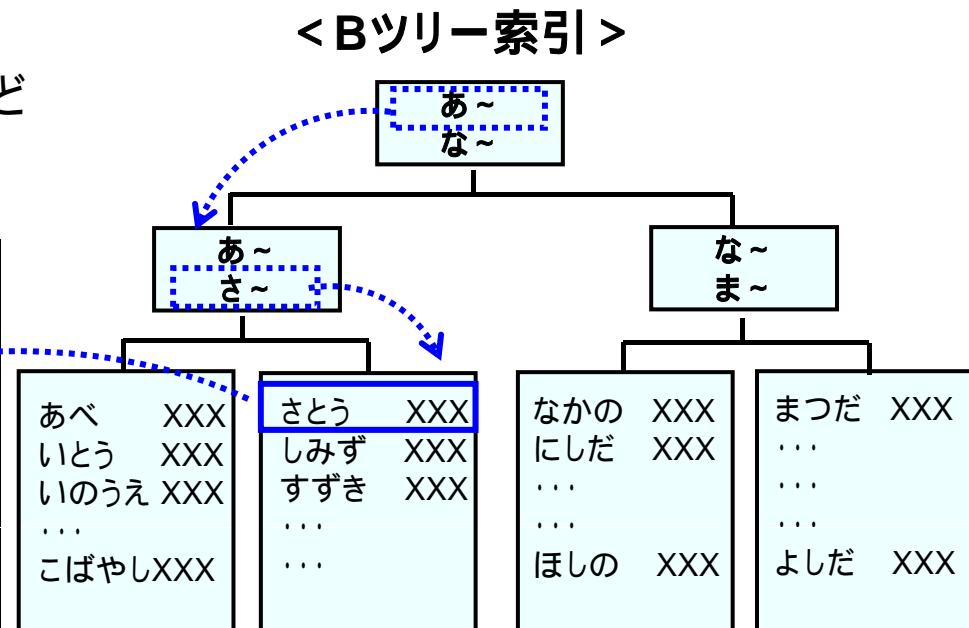
選択	名前	タイプ	表の列	無効	遅延可能	初期遅延	検証	RELY	チェック条件	参照スキーマ	参照表	参照表の列	削除時にカスケード
<input type="radio"/>	SYS_C0012422	CHECK	EMPLOYEE_ID	NO	NO	NO	YES	NO	"EMPLOYEE_ID" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012423	CHECK	LAST_NAME	NO	NO	NO	YES	NO	"LAST_NAME" IS NOT NULL				NO
<input type="radio"/>	SYS_C0012424	CHECK	EMAIL	NO	NO	NO	YES	NO	"EMAIL" IS NOT NULL				NO

索引とは？

- 索引: 表のデータを速く検索するために使用するオブジェクト
 - 検索に使う列をキーとして、データを昇順(もしくは降順)に格納
 - キー列の値とその行の物理的な場所 (ROWID) を格納
 - 索引があれば、自動的に使用される
- 索引の種類
 - Bツリー索引、ビットマップ索引
 - ファンクション索引、逆キー索引など

EMP表

EMP_ID	HIRE_DATE	LAST_NAME	SALARY
1	2008-12-05	たなか	30000
2	2008-12-05	すずき	25000
3	2008-12-09	さとう	20000
4	2008-12-09	よしだ	20000
5	2008-12-10	こばやし	15000



キーとなる列値と、ROWID (物理的な場所)

EMPLOYEES表に索引を作成します

Oracle Enterprise Manager (SYS) - データベース・インスタンス: ora11107 - Microsoft Internet Explorer

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107

データベース・オブジェクト

- 表
- 索引**
- ビュー
- シノニム
- 順序
- データベース・リンク
- ディレクトリ・オブジェクト
- オブジェクトの再編成

プログラム

- パッケージ
- パッケージ本体
- プロシージャ
- 関数
- トリガー
- Javaクラス
- Javaソース

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 索引 - Microsoft Internet Explorer

Oracle Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 > SYSとしてログイン

索引

オブジェクト・タイプ: 索引

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、スキーマ名とオブジェクト名を入力してください。

検索条件: 表名

スキーマ: ORADIRECT

オブジェクト名

実行

デフォルトでは、検索を行うと、入力した文字列で始まるすべての大文字の一致結果が戻されます。完全一致検索または大文字/小文字を区別する検索を実行するには、検索文字列を二重引用符で囲んでください。二重引用符で囲んだ文字列では、ワイルドカード記号(%)を使用できます。

選択モード: 単一

作成

編集 ビュー 削除 アクション 類似作成 実行

選択	表所有者	表	索引付けされた列	索引所有者	索引	表タイプ	表領域	パーティション化	最後の分析
<input type="radio"/>	ORADIRECT	DEPARTMENTS	DEPARTMENT_ID	ORADIRECT	SYS_C0012430	TABLE	USERS	NO	
<input checked="" type="radio"/>	ORADIRECT	EMPLOYEES	EMPLOYEE_ID	ORADIRECT	SYS_C0012496	TABLE	USERS	NO	2009/03/03 14:56:56 JST

EMPLOYEES表を選択

索引の内容を入力します

Oracle Enterprise Manager 11g
Database Control
データベース・インスタンス: ora11107 > 索引 > 索引の作成

SQL表示 ジョブのスケジュール 取消 **OK**

一般 記憶域 オプション パーティション 統計

* 名前 UK_EMP_LAST_NAME
スキーマ ORADIRECT
表領域 USERS
索引タイプ 標準 - Bツリー

クリック

表の列の移入
表名を記入し「列の移入」をクリック

索引付ける表オブジェクト
索引 表 クラス
* 表名 ORADIRECT.EMPLOYEES **列の移入**

ヒント 索引付けされた列とその順序は、「順序」フィールドで指定します

表の列 列名	データ型	ソート順	順序
EMPLOYEE_ID	NUMBER	ASC	
FIRST_NAME	VARCHAR2	ASC	
LAST_NAME	VARCHAR2	ASC	1
EMAIL	VARCHAR2	ASC	
PHONE_NUMBER	VARCHAR2	ASC	
HIRE_DATE	DATE	ASC	
JOB_ID	VARCHAR2	ASC	
SALARY	NUMBER	ASC	
COMMISSION_PCT	NUMBER	ASC	
MANAGER_ID	NUMBER	ASC	
DEPARTMENT_ID	NUMBER	ASC	

列式の追加

索引の内容を入力
索引名 : UK_EMP_LAST_NAME
スキーマ : ORADIRECT
表領域 : USERS
索引タイプ : 標準-Bツリー

列の選択
LAST_NAMEの順序に“1”を入力

索引が作成されます

Oracle Enterprise Manager (SYS) - 索引 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 >

確認
索引 ORADIRECT.UK_EMP_LAST_NAMEは正常に作成されました

索引

オブジェクト・タイプ: 索引

検索

結果セットに表示されるデータをフィルタ処理するには、スキーマ名とオブジェクト名を入力してください。

検索条件: 表名

スキーマ: ORADIRECT

オブジェクト名:

実行

デフォルトでは、検索を行うと、入力した文字列で始まるすべて大文字の一致結果が戻されます。完全一致検索または大文字/小文字を区別する検索を実行するには、検索文字列を二重引用符で囲んでください。二重引用符で囲んだ文字列では、ワイルドカード記号(%)を使用できます。

選択モード: 単一

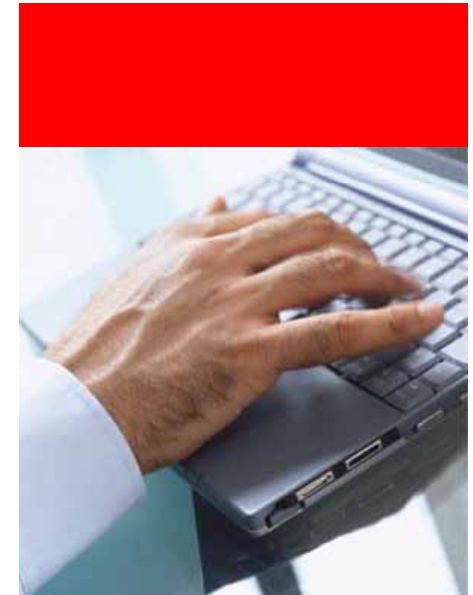
作成

選択	表所有者	表	索引付けされた列	索引所有者	索引	表タイプ	表領域	パーティション化	最後の分析
<input checked="" type="radio"/>	ORADIRECT	EMPLOYEES	LAST_NAME	ORADIRECT	UK_EMP_LAST_NAME	TABLE	USERS	NO	2009/03/10 11:00:43 JST
<input type="radio"/>	ORADIRECT	DEPARTMENTS	DEPARTMENT_ID	ORADIRECT	SYS_C0012430	TABLE	USERS	NO	
<input type="radio"/>	ORADIRECT	EMPLOYEES	EMPLOYEE_ID	ORADIRECT	SYS_C0012496	TABLE	USERS	NO	2009/03/03 14:56:56 JST

新しい索引が
EMPLOYEES表に対して
作成されました

Agenda

- はじめに
- データベース作成後の主な設定
- データベースユーザの管理
- 表領域とデータの確認
- 表と索引の作成
- データ入力と確認
 - SQL*Loader
 - ExportとImport
- まとめ



無償技術サービスOracle Direct Concierge

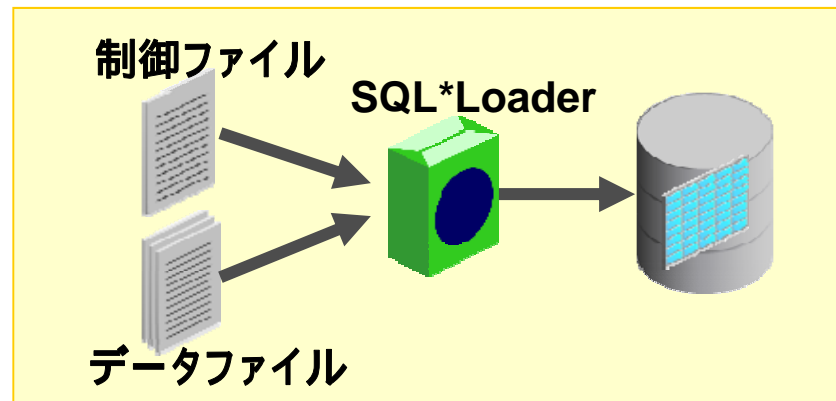
- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

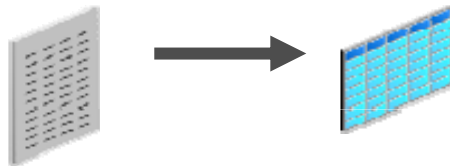
ORACLE

SQL*Loaderとは？

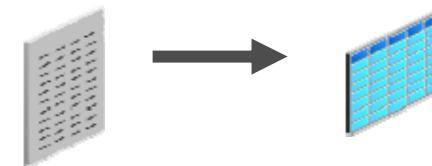
- SQL*Loaderとは？
 - Oracleが提供するデータロード・ユーティリティ
 - 高速かつ容易なデータローディングを実現



Departments.dat Departments表



Employees.dat Employees表



サンプルデータはOTNの「意外と簡単!？」シリーズのウェブ・サイトよりダウンロード可能です
http://otndnld.oracle.co.jp/easy/oracle11gr1/windows/scripts/sqlldr_script_win.zip

ORACLE

ユーザ・ファイルからデータをロードします



Enterprise Managerにログイン
ユーザ:SYSTEM
接続モード:NORMAL

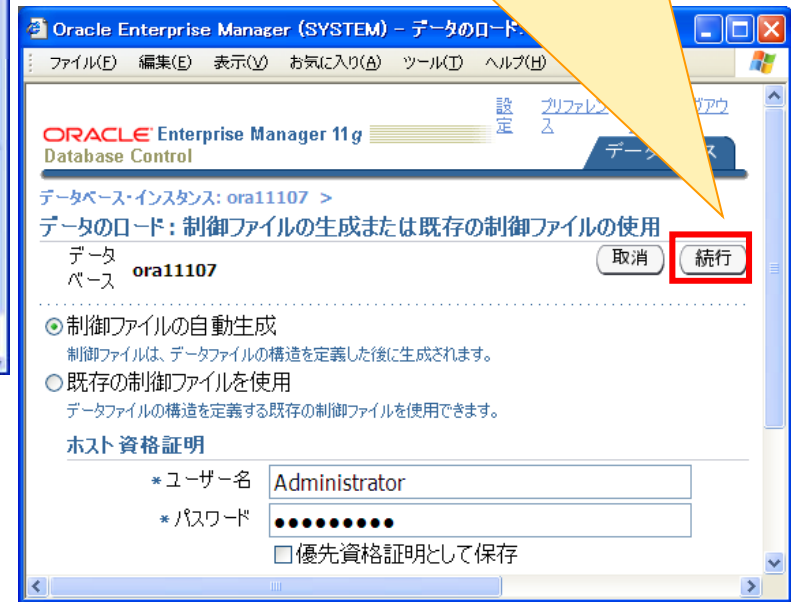
「制御ファイルの自動生成」を選択し、ホスト資格証明を入力し「続行」をクリック



行データの移動

[エクスポート・ファイルへのエクスポート](#)
[エクスポート・ファイルからのインポート](#)
[データベースからインポート](#)
[ユーザ・ファイルからのデータのロード](#)
[エクスポート・ジョブとインポート・ジョブの監視](#)

クリック



データファイルと表の設定を行います



データファイルの場所と名前を指定
今回はサーバー側にファイルがあるので、「データファイルはデータベース・サーバー・マシン上にあります」を選択し、「適切なディレクトリ名/departments.dat」を入力し、「次へ」をクリック

データをロードする表と
データファイルの形式を指定
ORADIRECTユーザーの
DEPARTMENTS表をロード先に指定し、
データファイル形式は文字区切りを
選択し、「次へ」をクリック

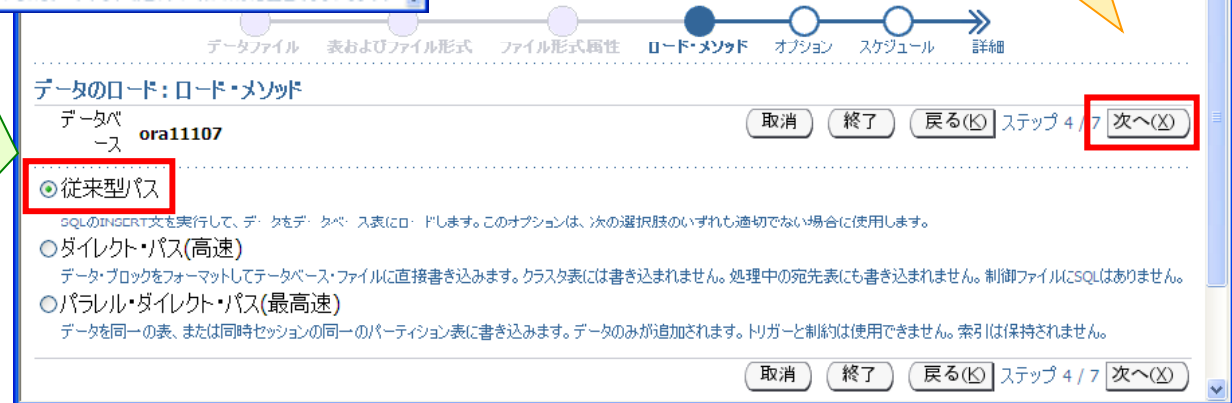


ファイル形式属性とロードメソッドの設定をします



ファイル形式属性の設定
今回は変更する箇所はないので確認して「次へ」をクリック

ロード・メソッドの選択
「従来型パス」を選択し、「次へ」をクリック



- **従来型パス**
SQL文のINSERT文を実行して、データベース表にデータローディング
- **ダイレクト・パス**
データベース・ブロックを作成し、DBバッファ・キャッシュをバイパスして高速ローディング

オプションとスケジュールを設定します

Oracle Enterprise Manager (SYSTEM) - データのロード: オプション - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データのロード: オプション

データベース ora11107

ロードする行数を制限
ロードする行数 0

最初の行のスキップ
スキップする行数 0

ロード中断
エラーの許容最大数(これを超えるとロードが中断します) 50

索引
使用不可の索引または索引パーティションを許可
ダイレクトパスロードの索引メンテナンスをスキップ

オプション・ファイル
エラーを含むレコードが格納される不良ファイルの生成
不良ファイル
拒否レコードおよび再入力されないレコードが格納される廃棄ファイルの生成
廃棄ファイル
 ログ情報を格納するログ・ファイルの生成
ログ・ファイル D:\temp\departments.LOG

次へ(X)

オプションの設定
「ログ情報を格納するログ・ファイルの生成」に適切なログ名を入力し「次へ」をクリック

Oracle Enterprise Manager (SYSTEM) - データのロード: スケジュール - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データのロード: スケジュール

データベース ora11107

ジョブ・パラメータ
ジョブ名 ORADIRECTDEPT
説明 departments表へのデータロード

ジョブ・スケジュール
タイムゾーン (UTC+09:00) 東京

開始
 即時
 後で

日付 2009/02/27
時間 5:35 AM

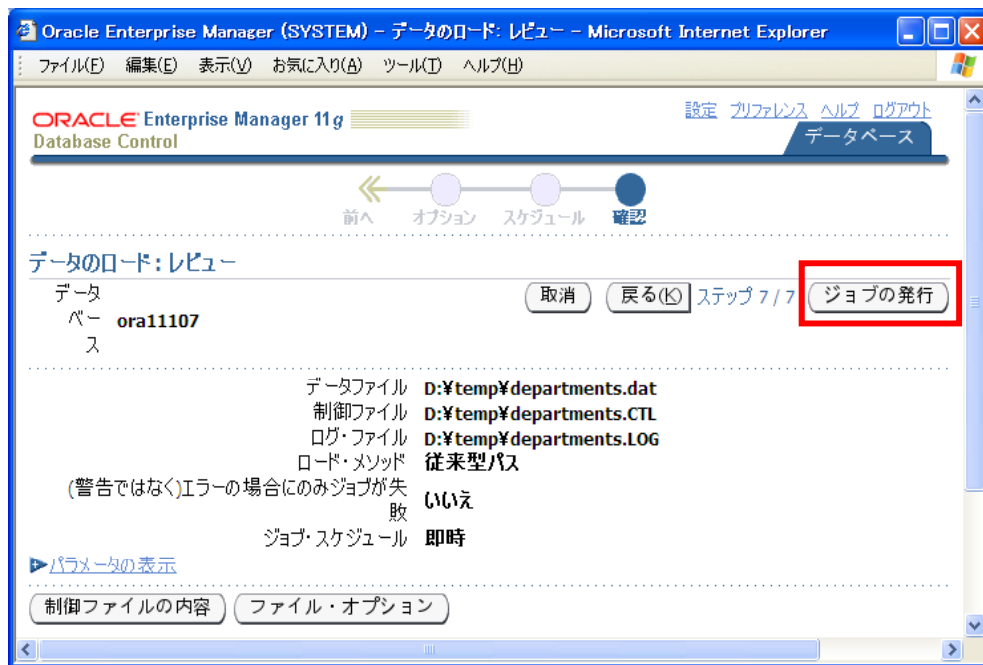
頻度 1 分

日付 2009/02/27
時間 5:45 AM

次へ(X)

スケジュールの設定
「即時」を設定し、適当なジョブ名を入力し「次へ」をクリック

設定内容を確認し、ジョブを発行します



レビュー
設定内容を確認後
「ジョブの発行」をクリック

ジョブは即時で発行され
データローディングが実行されました

結果の確認
「結果の表示」
をクリック



ジョブ実行結果の確認

Oracle Enterprise Manager (SYSTEM) - ジョブ実行: ORADIRECTDEPT - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

ジョブ実行: ORADIRECTDEPT
ページ: リフレッシュ 2009/02/27 17:54:14 JST (削除の実行) (編集) (定義の表示)

サマリー

ステータス **成功** タイプ ロード
スケジュール済 2009/02/27 17:51:15 (UTC+09:00) 所有者 SYSTEM
起動済 2009/02/27 17:51:15 (UTC+09:00) 説明 departments表へのデータロード
終了 2009/02/27 17:51:28 (UTC+09:00) DEユーザー名 SYSTEM
経過時間 13秒 ユーザー名 mohara
通知 いいえ

ターゲット
ステータス すべて

名前	ターゲット	ステータス	起動済	終了	経過時間 (秒)
▼実行: ora11107	ora11107	成功	2009/02/27 17:51:15 (UTC+09:00)	2009/02/27 17:51:28 (UTC+09:00)	13
ステップ: ロード	ora11107	成功	2009/02/27 17:51:25 (UTC+09:00)	2009/02/27 17:51:28 (UTC+09:00)	3

ジョブの詳細を確認

成功している場合にはステータスが「成功」となります

「DEPARTMENTS」表のデータ確認

「表データの確認」の手順から確認できます

Oracle Enterprise Manager - 表のデータの表示: ORADIRECT.DEPARTMENTS - Micr...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ORACLE Enterprise Manager 11g 設定 プリファレンス ヘルプ ログアウト
Database Control データベース

データベース-インスタンス: ora11107 > 表 > SYSTEMとしてログイン

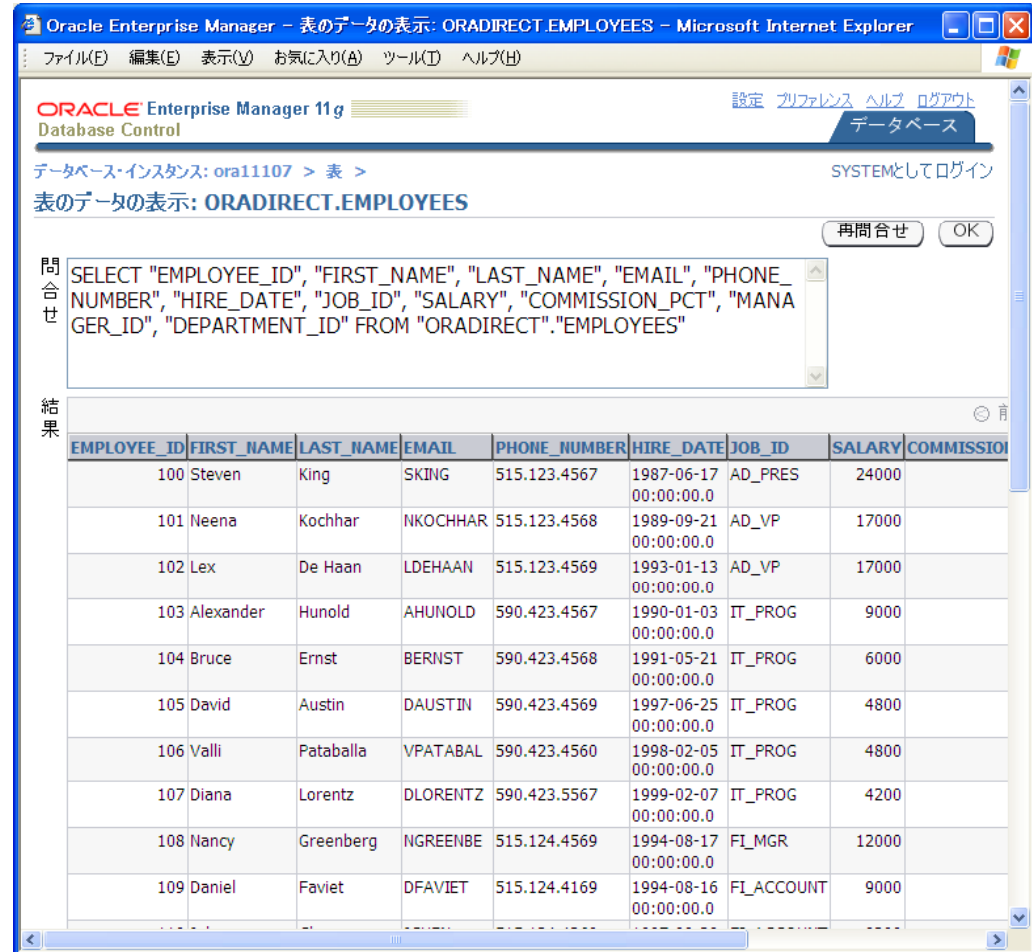
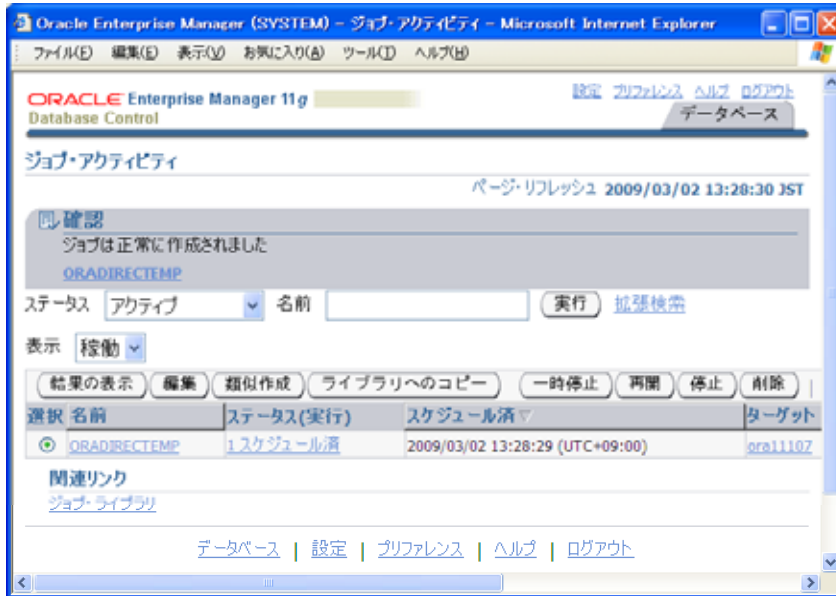
表のデータの表示: ORADIRECT.DEPARTMENTS (再問合せ) (OK)

問合せ
SELECT "DEPARTMENT_ID", "DEPARTMENT_NAME", "MANAGER_ID", "LOCATION_ID" FROM "ORADIRECT"."DEPARTMENTS"

結果 ◎ 前へ 1-25 / 27 次へ 2行 ◎

DEPARTMENT_ID	DEPARTMENT_NAME	MANAGER_ID	LOCATION_ID
10	Administration	200	1700
20	Marketing	201	1800
30	Purchasing	114	1700
40	Human Resources	203	2400
50	Shipping	121	1500
60	IT	103	1400
70	Public Relations	204	2700
80	Sales	145	2500
90	Executive	100	1700
100	Finance	108	1700
110	Accounting	205	1700
120	Treasury		1700
130	Corporate Tax		1700
140	Control And Credit		1700
150	Shareholder Services		1700
160	Benefits		1700
170	Manufacturing		1700
180	Construction		1700
190	Contracting		1700
200	Operations		1700
210	IT Support		1700
220	NOC		1700
230	IT Helpdesk		1700
240	Government Sales		1700
250	Retail Sales		1700

EMPLOYEES表にデータロード

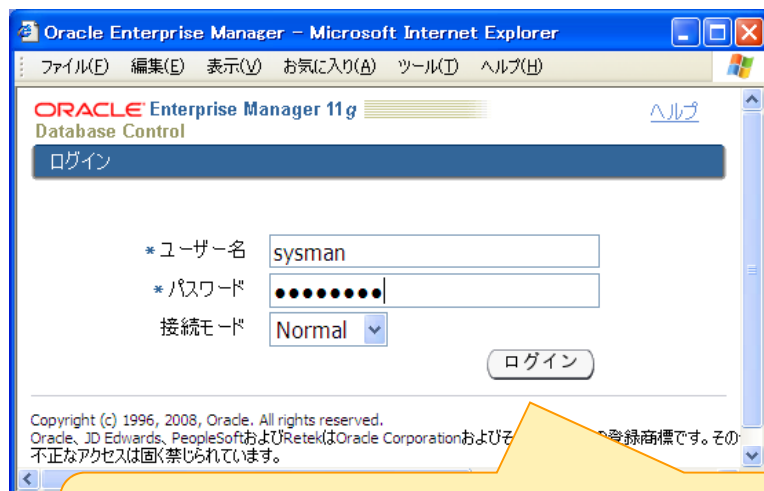


DEPARTMENTS表と
同様の方法でEmployees.datを
使ってEMPLOYEES表
にもデータを入力してみてください

Export/Importユーティリティ

- EXPORT/IMPORTユーティリティは、Oracle Databaseから表の定義やデータをオンラインにてアンロード/ロードする機能です
- データをEXPORTしIMPORTし直すことにより、領域の断片化の解消可能

- 作成したEMPLOYEES表をエクスポートします



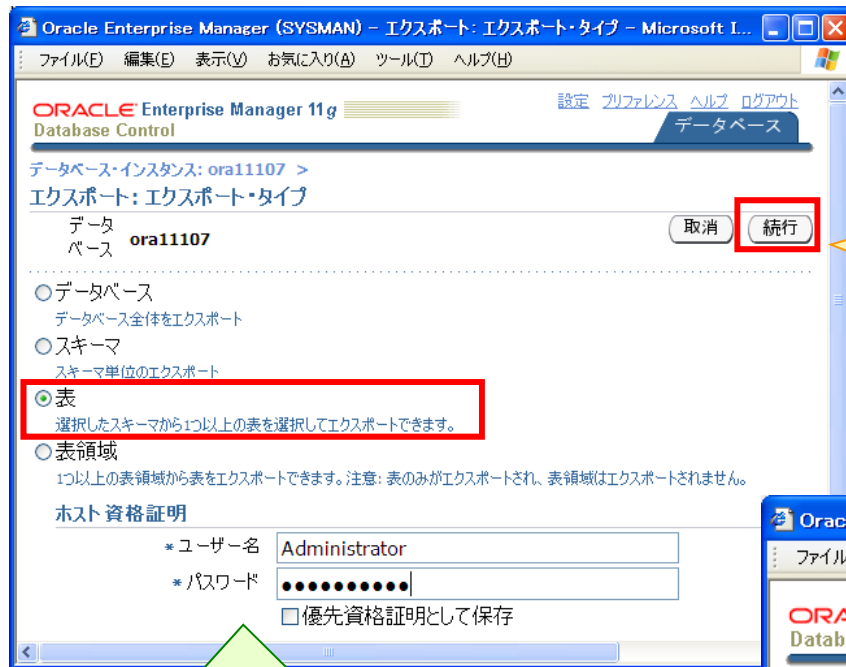
ユーザ: SYSMAN、
接続モード: NORMALでログイン



クリック

行データの移動
エクスポート・ファイルへのエクスポート
エクスポート・ファイルからのインポート
データベースからインポート
ユーザー・ファイルからのデータのロード
エクスポート・ジョブとインポート・ジョブの監視

エクスポート・タイプと表の設定を行います



エクスポートする範囲の設定
エクスポート・タイプ に「表」を
選択し、ホスト資格証明を入力し
「続行」をクリック

エクスポートする表の設定
「追加」をクリック



EXPORT/IMPORTは、OS
のファイルシステム上にデ
ータをアンロードするため、
ホストの資格証明の入力が
必要になります

表を追加します

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - エクスポート: 表の追加 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

設定 プリファレンス ヘルプ ログアウト データベース

表 オプション ファイル スケジュール 確認

エクスポート: 表の追加

データベース ora11107 [取消] [選択]

表またはパーティション (あるいはその両方) はすべて同じスキーマに属している必要があります。

検索

スキーマのフルネームを入力するか、「検索結果」表にスキーマ表を表示するスキーマを選択します。スキーマからの表リストをフィルタ処理するための検索基準を「表」フィールドに入力します。

スキーマ ORADIRECT
選択したスキーマからの表のみが検出されます。

表
この文字列を含むすべての表名が検出されます。

検索 表 パーティション
[実行]

検索結果

すべて選択 | 選択解除

選択	スキーマ	表
<input type="checkbox"/>	ORADIRECT	DEPARTMENTS
<input checked="" type="checkbox"/>	ORADIRECT	EMPLOYEES

表の追加

ORADIRECTスキーマのEMPLOYEES表にチェックを入れ、「選択」をチェック

エクスポートする表の設定
表の追加画面に戻り、EMPLOYEES表が選択されていることを確認し、「次へ」をクリック

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - エクスポート: 表 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

設定 プリファレンス ヘルプ ログアウト データベース

表 オプション ファイル スケジュール 確認

エクスポート: 表

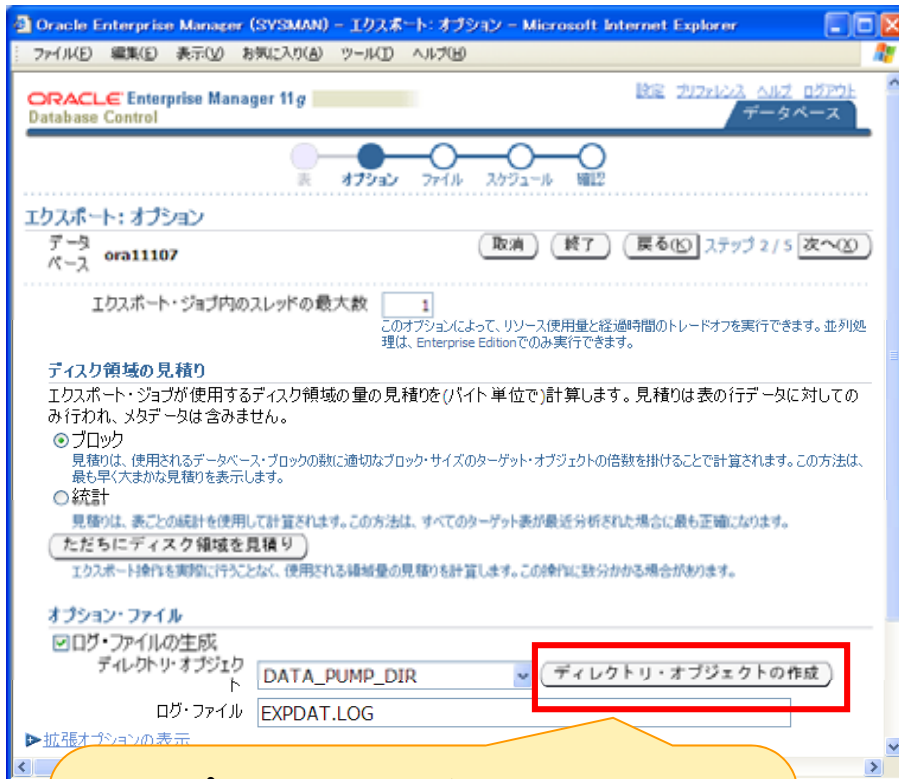
データベース ora11107 [取消] [終了] ステップ 1 / 5 [次へ(X)]

[追加]

[削除]

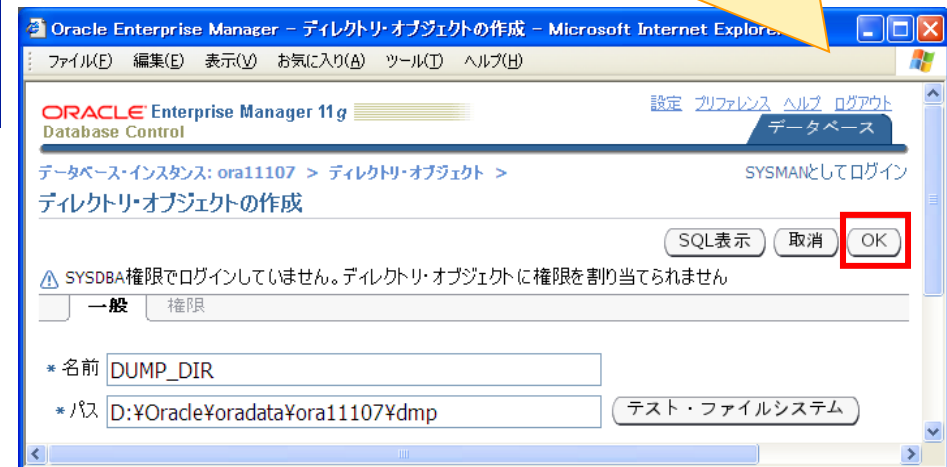
選択	スキーマ	表
<input checked="" type="radio"/>	ORADIRECT	EMPLOYEES

ディレクトリ・オブジェクトを作成します



オプションの設定
ログファイルの格納先を明示的に指定するため、「ディレクトリ・オブジェクトの作成」をクリック

ディレクトリ・オブジェクトの作成
出力先のディレクトリを入力後、「OK」をクリック



オプションの設定を行います



オプション
オプション画面に戻ります。
ディレクトリ・オブジェクトを作成したディレクトリ・オブジェクトに変更し、「次へ」をクリック

出力先と出力ファイルの設定
先ほど作成したディレクトリ・オブジェクトが設定されていることを確認し、「次へ」をクリック



ジョブを発行します

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - エクスポート: スケジュール - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g
Database Control

エクスポート: スケジュール

データベース ora11107

取消 戻る(B) ステップ 4 / 次へ(N)

エクスポート: ジョブの名前と説明を指定してください。ジョブを開始する日付を指定してください。

ジョブパラメータ

ジョブ名

説明

ジョブスケジュール

タイムゾーン [(UTC+09:00) 東京]

開始

即時

後で

日付
(例: 2009/03/02)

時間 : AM PM

繰返し

1回のみ

間隔

頻度 分

繰返し期限

未定義

カスタム

日付

Oracle Enterprise Manager 11g
Database Control

エクスポート: レビュー

データベース ora11107

取消 戻る(B) ステップ 5 / 5 **ジョブの発行**

エクスポートタイプ	表
統計タイプ	データをインポートするときにオブティマイザ統計を見積り
並列性	1
エクスポートするファイル	DUMP_DIR EXPDAT%U.DMP
ログファイル	DUMP_DIR EXPDAT.LOG
ジョブスケジュール	即時

PL/SQLの表示

https://mohara-1p.jp.oracle.co

Oracle Enterprise Manager 11g
Database Control

データベース-インスタンス: ora11107 >

⊕ 処理中

ジョブの発行は進行中です。この操作には少し時間がかかる場合があります。この操作に数分かかる場合があります。操作を終了すると、このページは自動的に次のページに移動します。

処理が進行中です。

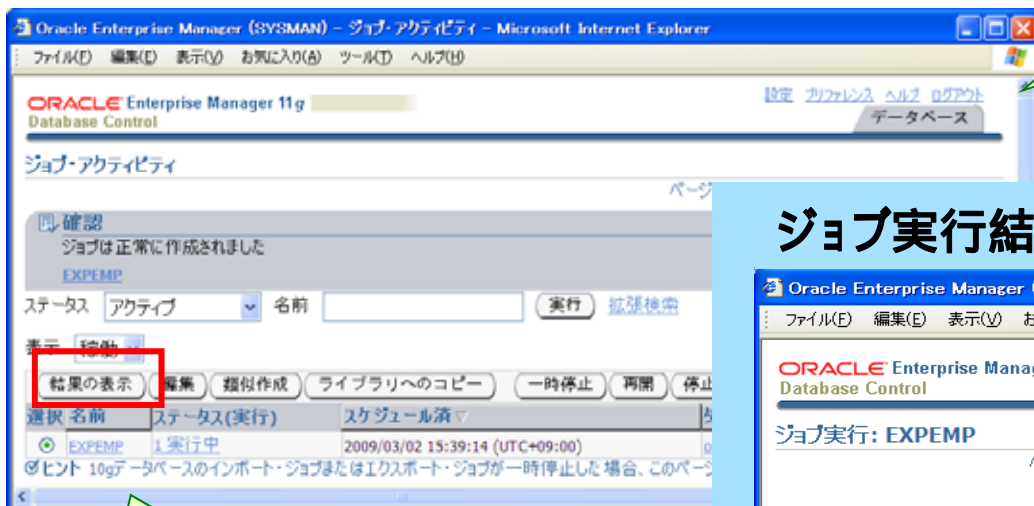
ヒント この操作は取り消せません。ブラウザ・ウィンドウを開いても続行されます。

データベース | 設定 | ツール | ヘルプ | ログアウト

Copyright (c) 1996, 2008, Oracle. All rights reserved.
Oracle, JD Edwards, PeopleSoftおよびReteckはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれ

ジョブ実行結果の確認

エクスポートが正常に終了すると、以下の画面が表示されます



「結果の表示」をクリックすると、詳細を確認できます

ジョブ実行結果

サマリー

ステータス	成功	タイプ	エクスポート
スケジュール済	2009/03/02 15:39:14 (UTC+09:00)	所有者	SYSMAN
起動済	2009/03/02 15:39:14 (UTC+09:00)	説明	Employees表のエクスポート
終了	2009/03/02 15:39:57 (UTC+09:00)	DBユーザー名	SYSMAN
経過時間	42秒	ユーザー名	mohara
通知	いいえ		

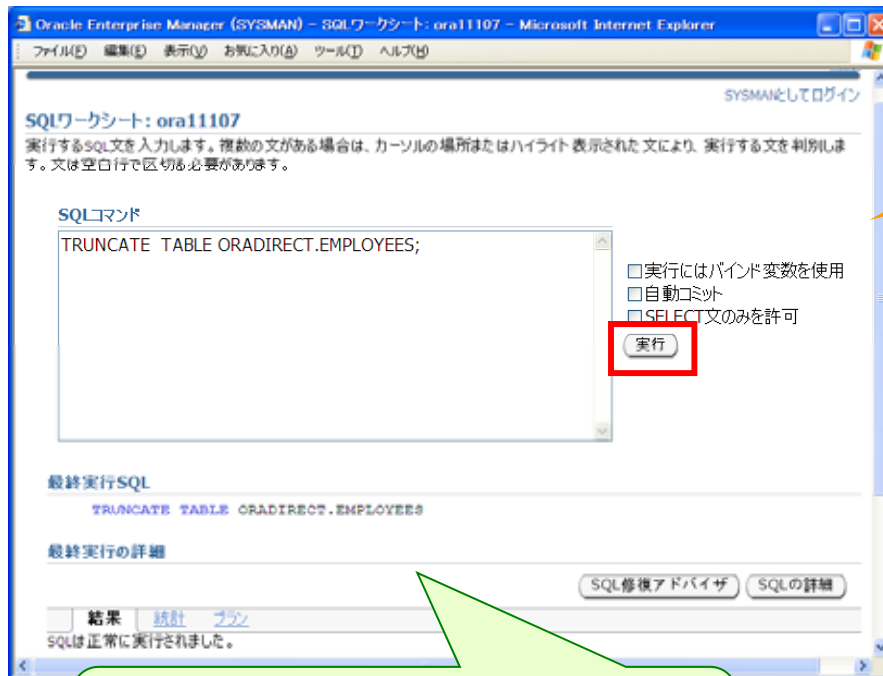
データ・ポンプ・ジョブの監視

ヒント 10gデータベースのインポート・ジョブまたはエクスポート・ジョブが一時停止した場合、ステータスは"失敗"になります。詳細は、ヘルプを参照してください。

名前	ターゲット	ステータス	起動済	終了	経過時間 (秒)
▼ 実行: ora11107	ora11107	成功	2009/03/02 15:39:14 (UTC+09:00)	2009/03/02 15:39:57 (UTC+09:00)	42
ステップ: エクスポート	ora11107	成功	2009/03/02 15:39:17 (UTC+09:00)	2009/03/02 15:39:57 (UTC+09:00)	39

インポートする前に・・・

- ・ エクスポートしたダンプファイルからEMPLOYEES表にインポートしてみましょう

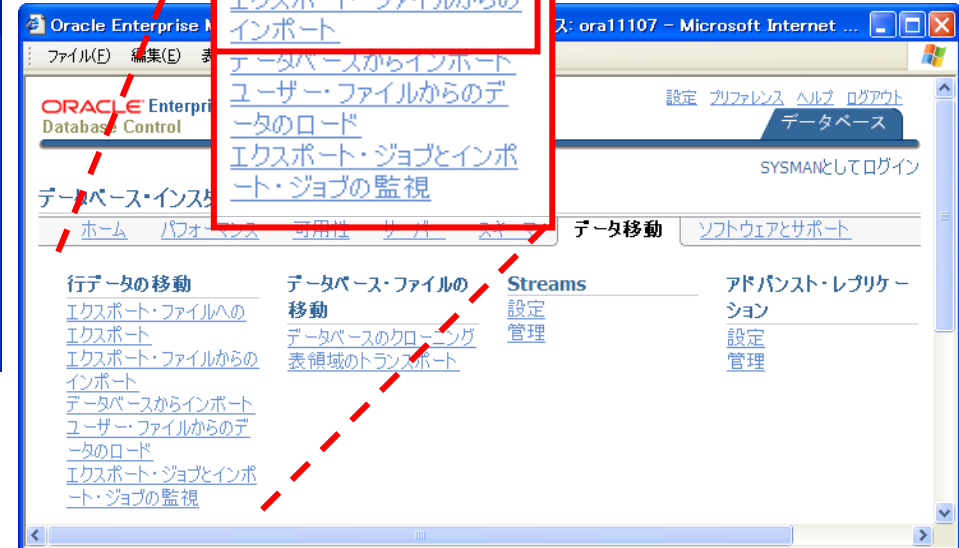


TRUNCATE TABLE
ORADIRECT.EMPLOYEES;

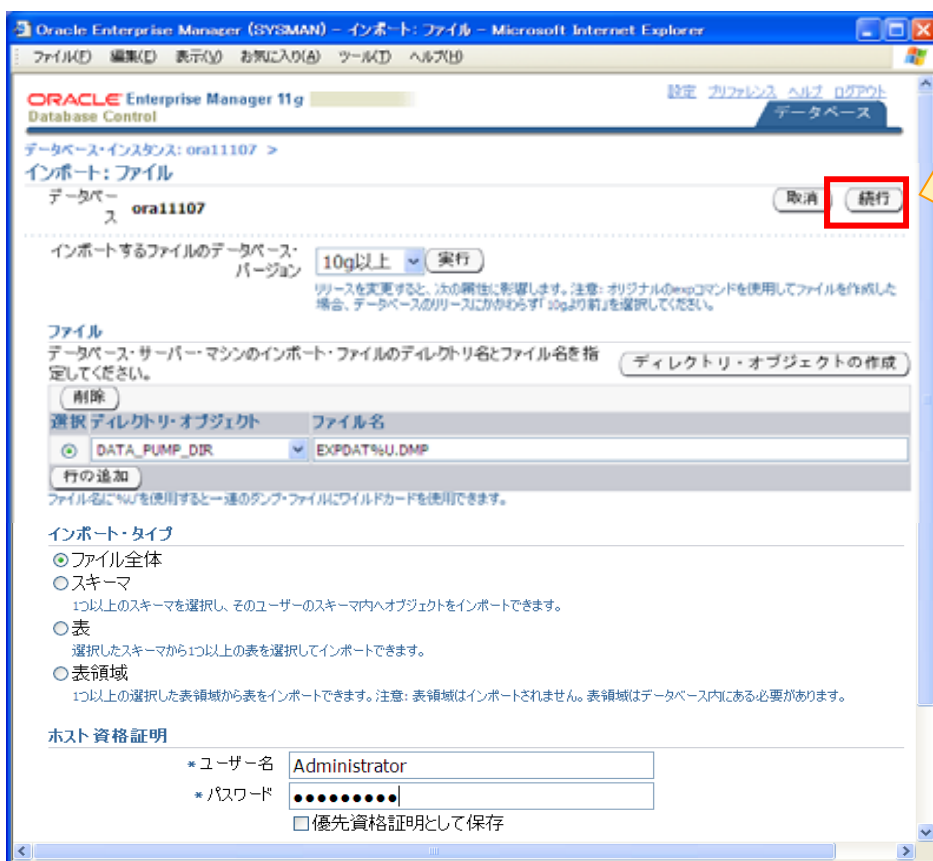
事前準備
EMPLOYEES表のデータを切り捨てる

クリック

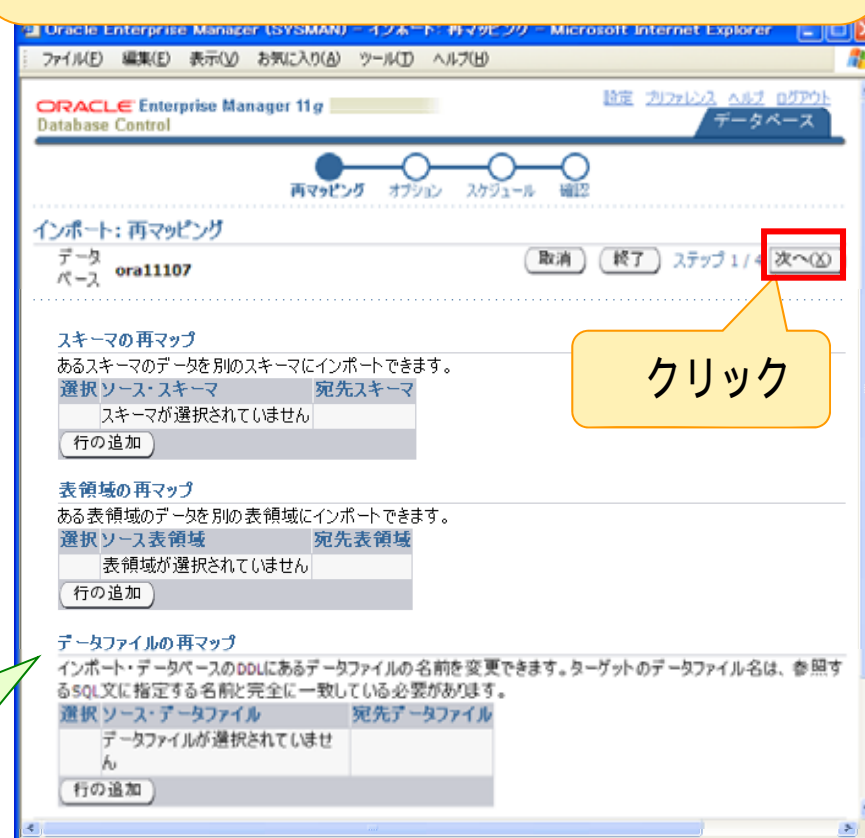
行データの移動
エクスポート・ファイルへのエクスポート
エクスポート・ファイルからのインポート
データベースからインポート
ユーザー・ファイルからのデータのロード
エクスポート・ジョブとインポート・ジョブの監視



インポート・ファイルの設定を行います



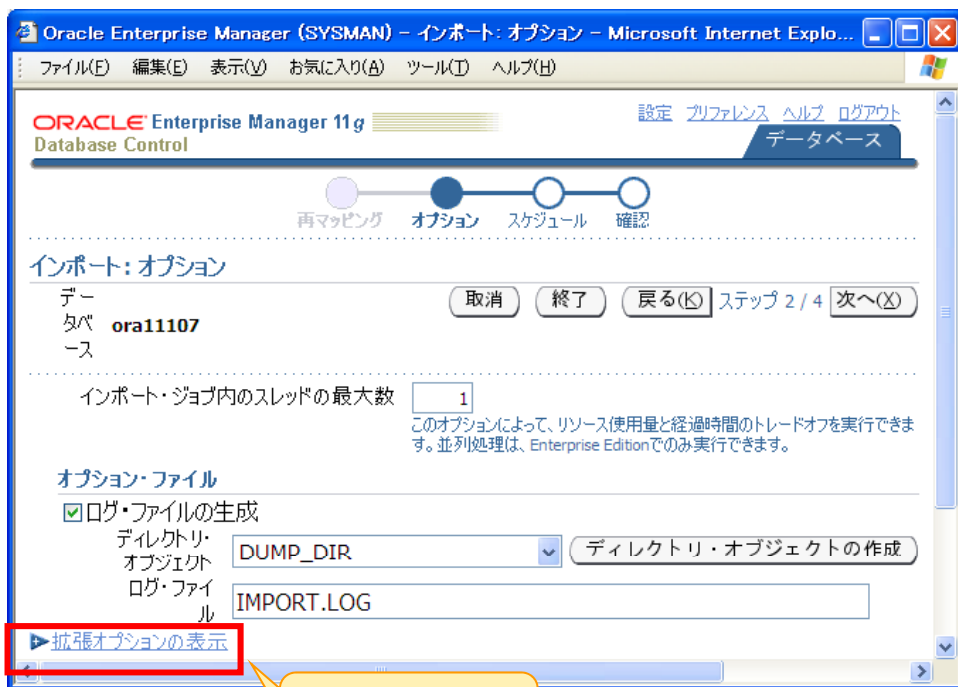
インポートファイルの設定
ディレクトリ・オブジェクトをエクスポート時に作成した名前に変更し、ホスト資格証明を入力し、「続行」をクリック



クリック

再マッピング:
インポートしたデータを別のスキーマや、別の表領域に割り当てる事が可能

オプションの設定を行います

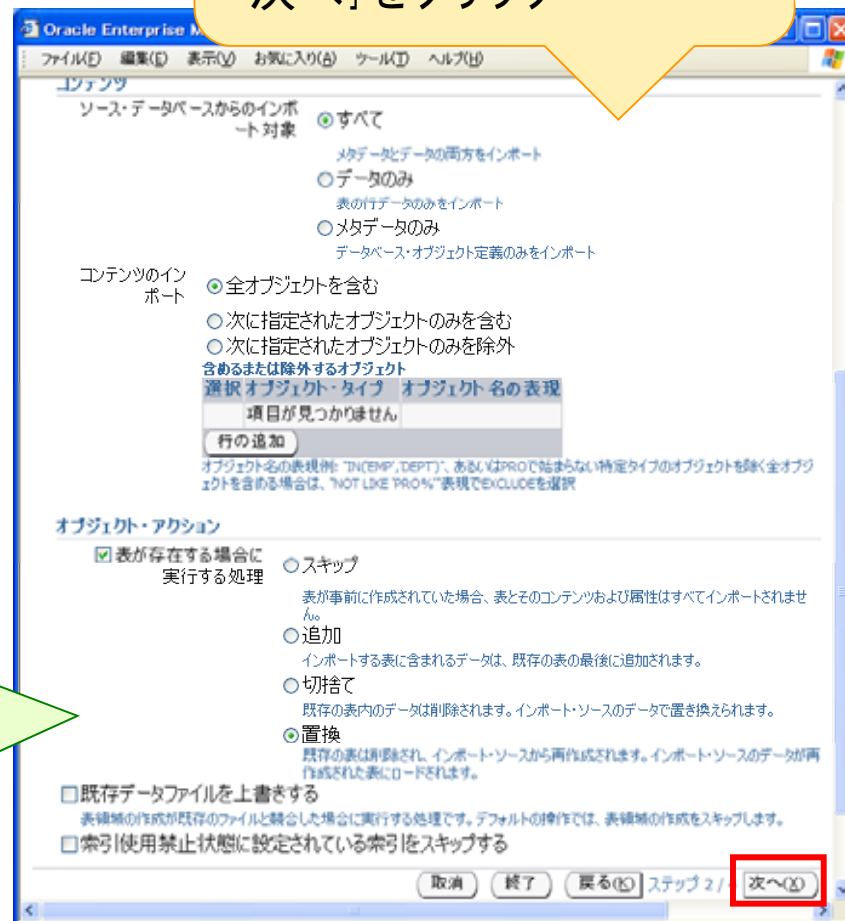


クリック

オプション設定内容

ディレクトリ・オブジェクト: EXPORT時に指定したディレクトリ
ソース・データベースからのインポート対象: すべて
表が存在する場合に実行する処理: チェックする
項目は「置換」を選択

オプション設定
デフォルト値を設定し直し、
「次へ」をクリック



ORACLE

ジョブを発行します

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - インポート: スケジュール - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

再マッピング オプション スケジュール 確認

インポート: スケジュール
データベース ora11107 [取消] [戻る(B)] ステップ 3 / [次へ(X)]

インポート・ジョブの名前と説明を指定してください。ジョブを開始する日付を指定してください。

ジョブ・パラメータ
ジョブ名 IMPEMP
説明 EMPLOYEES表へのIMPORT処理

ジョブ・スケジュール
タイムゾーン (UTC+09:00) 東京

開始
 即時
 後で
日付 2009/03/03 (例: 2009/03/03)
時間 2 25 AM PM

繰返し
 1回のみ
 間隔
繰返し期間
 未定義
 カスタム
頻度 1
 月
 年

処理の実行時間の設定
ジョブ名に適切な名称を記入し、
ジョブ・スケジュールを設定し、
「次へ」をクリック

ジョブの確認
内容を確認後、
「ジョブの発行」をクリック

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - インポート: レビュー - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

再マッピング オプション スケジュール 確認

インポート: レビュー
データベース ora11107 [取消] [戻る(B)] ステップ 4 / 4 [ジョブの発行]

インポート・タイプ ファイル全体
インポートするファイル DATA_PUMP_DIR EXPDAT%U.DMP
ログ・ファイル DUMP_DIR IMPORT.LOG
並列性 1
ジョブ・スケジュール 即時
既存データファイルを上書きする いいえ

PL/SQLの表示

インポート実行中

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - インポート: 処理の進行中 - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

データベース・インスタンス: ora11107 >

⊕ インポート: 処理の進行中
ジョブの発行は進行中です。この操作には少し時間がかかる場合があります。
この操作に数分かかる場合があります。操作を終了すると、このページは自動的に次のページに移動します。

処理が進行中です。

ヒント この操作は取り消せません。ブラウザ・ウィンドウを閉じても続行されます。

データベース | 設定 | プリファレンス | ヘルプ | ログアウト

ジョブ実行結果の確認

インポートが正常に終了すると、以下の画面が表示されます

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - ジョブ・アクティビティ - Microsoft Internet Explorer

確認
ジョブは正常に作成されました
IMPEMP

拡張検索

名前: [] ジョブ・タイプ: すべて
所有者: すべて ターゲット・タイプ: データベース・インスタンス
ステータス: すべて ターゲット名: "ora11107"
スケジュール開始: 過去7日間

表示: 稼働

結果の表示 編集 類似作成 ライブラリへのコピー 一時停止 再開

選択	名前	ステータス(実行)	スケジュール済
<input checked="" type="radio"/>	IMPEMP	1 実行中	2009/03/03 14:56:52 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	ORAORA	1 成功	2009/03/03 11:44:27 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	EXPEMP	1 成功	2009/03/02 15:39:14 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	ORADIRECTEMP	1 成功	2009/03/02 13:28:29 (UTC+09:00)
<input type="radio"/>	ORADIRECTDEPT	1 成功	2009/02/27 17:51:15 (UTC+09:00)

「結果の表示」をクリックすると、詳細を確認できます

ジョブ実行結果

Oracle Enterprise Manager (SYSMAN) - ジョブ実行: IMPEMP - Microsoft Internet Explorer

ORACLE Enterprise Manager 11g Database Control

ジョブ実行: IMPEMP

ページ: リフレッシュ 2009/03/03 14:57:47 JST 削除の実行 編集 定義の表示

サマリー

ステータス: **成功**
スケジュール済: 2009/03/03 14:56:52 (UTC+09:00)
起動済: 2009/03/03 14:56:52 (UTC+09:00)
終了: 2009/03/03 14:56:57 (UTC+09:00)
経過時間: 5秒
通知: いいえ

タイプ: インポート
所有者: SYSMAN
説明: EMPLOYEES表へのIMPORT処理
DBユーザー名: SYSMAN
ユーザー名: mohara

データ・ポンプ・ジョブの監視

ヒント: 10gデータベースのインポート・ジョブまたはエクスポート・ジョブが一時停止した場合、ステータスは「失敗」になります。詳細は、ヘルプを参照してください。

ターゲット: []
ステータス: すべて

名前	ターゲット	ステータス	起動済	終了	経過時間(秒)
▼ 実行: ora11107	ora11107	成功	2009/03/03 14:56:52 (UTC+09:00)	2009/03/03 14:56:57 (UTC+09:00)	5
ステップ: インポート	ora11107	成功	2009/03/03 14:56:52 (UTC+09:00)	2009/03/03 14:56:57 (UTC+09:00)	5

表データの確認

Oracle Enterprise Manager 11g
Database Control
データベース
データベース-インスタンス: ora11107 > 表 >
SYSMANとしてログイン
表のデータの表示: ORADIRECT.EMPLOYEES
再問合せ OK

問合せ
SELECT "EMPLOYEE_ID", "FIRST_NAME", "LAST_NAME", "EMAIL", "PHONE_NUMBER", "HIRE_DATE", "JOB_ID", "SALARY", "COMMISSION_PCT", "MANAGER_ID", "DEPARTMENT_ID" FROM "ORADIRECT"."EMPLOYEES"

結果

EMPLOYEE_ID	FIRST_NAME	LAST_NAME	EMAIL	PHONE_NUMBER	HIRE_DATE	JOB_ID	SALARY	COI
100	Steven	King	SKING	515.123.4567	1987-06-17 00:00:00.0	AD_PRES	24000	
101	Neena	Kochhar	NKOCHHAR	515.123.4568	1989-09-21 00:00:00.0	AD_VP	17000	
102	Lex	De Haan	LDEHAAN	515.123.4569	1993-01-13 00:00:00.0	AD_VP	17000	
103	Alexander	Hunold	AHUNOLD	590.423.4567	1990-01-03 00:00:00.0	IT_PROG	9000	
104	Bruce	Ernst	BERNST	590.423.4568	1991-05-21 00:00:00.0	IT_PROG	6000	
105	David	Austin	DAUSTIN	590.423.4569	1997-06-25 00:00:00.0	IT_PROG	4800	
106	Valli	Pataballa	VPATABAL	590.423.4560	1998-02-05 00:00:00.0	IT_PROG	4800	
107	Diana	Lorentz	DLORENTZ	590.423.5567	1999-02-07 00:00:00.0	IT_PROG	4200	
108	Nancy	Greenberg	NGREENBE	515.124.4569	1994-08-17 00:00:00.0	FI_MGR	12000	
109	Daniel	Faviet	DFAVIET	515.124.4169	1994-08-16 00:00:00.0	FI_ACCOUNT	9000	
110	John	Chen	JCHEN	515.124.4269	1997-09-28 00:00:00.0	FI_ACCOUNT	8200	
111	Ismael	Sciarra	ISCIARRA	515.124.4369	1997-09-30 00:00:00.0	FI_ACCOUNT	7700	
112	Jose Manuel	Urman	JMURMAN	515.124.4469	1998-03-07 00:00:00.0	FI_ACCOUNT	7800	

EMPLOYEES表にデータが
インポートされています

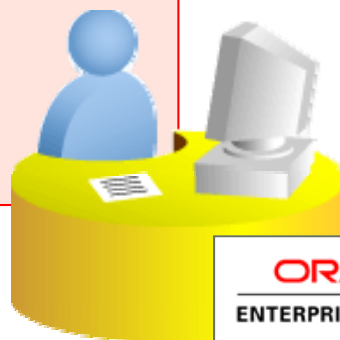
まとめ

データベース作成後の主な設定

- 停止と開始
- データベース運用モードの設定
- パラメータの確認
- メモリアドバイザ

データベースユーザの管理

- ロックされているアカウントの解除
- ユーザの作成
- 権限の付与



表と索引の作成

- 表の作成
- 索引の作成

表定義とデータの確認

- 表定義の確認
- データの確認

データ入力と確認

- SQL*Loader
- ExportとImport

来月開催予定の意外と簡単!?シリーズ

- 4/20(月) 17:30 ~ 18:30 バックアップとリカバリ編
- 4/21(火) 17:30 ~ 18:30 セキュリティ編



年末ダイセミ受講感謝キャンペーン

Oracle Direct Seminarを御愛護頂き、誠にありがとうございます。感謝の気持ちを込めまして、**合計100名様**にWendy2010年版カレンダーをプレゼントいたします。11月・12月に開催のダイセミを2つ以上受講頂いた方が対象です。是非皆様奮ってご応募下さい!!

プレゼントの送付先は、セミナー登録時にご登録されている貴社住所宛てに送付させていただきます。お客様の登録情報に、a.貴社名、b.部署名、c.役職名、d.住所が正しく登録されていることをご確認ください。a,b,c,dの情報が**正しく登録されていない場合はご応募が無効**となりますのでご注意ください。お客様情報の変更はこちらから実施頂けます。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/membership/index.html>

応募方法



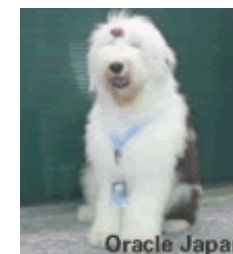
ORD_SEMINAR_JP@ORACLE.COM

【タイトル】年末カレンダー応募

【必要情報】

- 1、ご登録の氏名
- 2、ご登録の貴社名、所属部署名
- 3、受講された2009年11月・12月開催のセミナータイトル
- 4、現在ご検討中のシステムについてなど、Oracle Directに相談されたいことなどございましたら記載ください。

必要情報を明記のうえ、メールでご応募ください。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



ORACLE

OTN揭示版 × ダイセミ でスキルアップ!!

- ・セミナー中に解消できなかった疑問点を解消したい!
- ・セミナー終了後に疑問点が出てきた!
- ・一般的なその解決方法などを知りたい!



このようなお客様に、
Oracle Technology Network(OTN)の
揭示版の活用をお薦めします。

<http://otn.oracle.co.jp/forum/index.jspa?categoryID=2>

→ セミナーに関連する質問については、OTN揭示版の
「データベース一般」へ

OTN揭示版は、基本的にOracleユーザー有志からの回答となるため100%回答があるとは限りません。
ただ、過去の履歴を見ると、質問の大多数に関してなんらかの回答が書き込まれております。

ORACLE

Oracle University Live Virtual Class

無料ミニセッション参加で

Oracle University LVCコースが**15% OFF**!

スキルアップ
応援キャンペーン

インターネットを通じてライブで研修に参加できる**Oracle University Live Virtual Class (Oracle University LVC)**のスキルアップ応援キャンペーンです。



その

1時間の**Oracle University LVC無料ミニセッション開催!**

オラクルユニバーシティの**人気講師**が、**定番&最新の研修コース**から気になるトピックをピックアップしてお届けします。

その

参加者全員に、期間限定で**Oracle University LVCコース15%OFF**をプレゼント!

無料ミニセッションお申し込み

データベース
ミドルウェア

無料セッション
& 割引詳細

『パフォーマンスチューニング』『Data Warehouse』などに
ピンと来た方、必見です!

(開催日:11/2、11/12、11/13)

http://education.oracle.co.jp/lvc_session_0911/

ビジネス・
アプリケーション

無料セッション
& 割引詳細

Oracle E-Business Suiteの新機能から、Siebel、PeopleSoft、
JD Edwards、Agileの入門コースまで、気になるトピックが勢揃い!

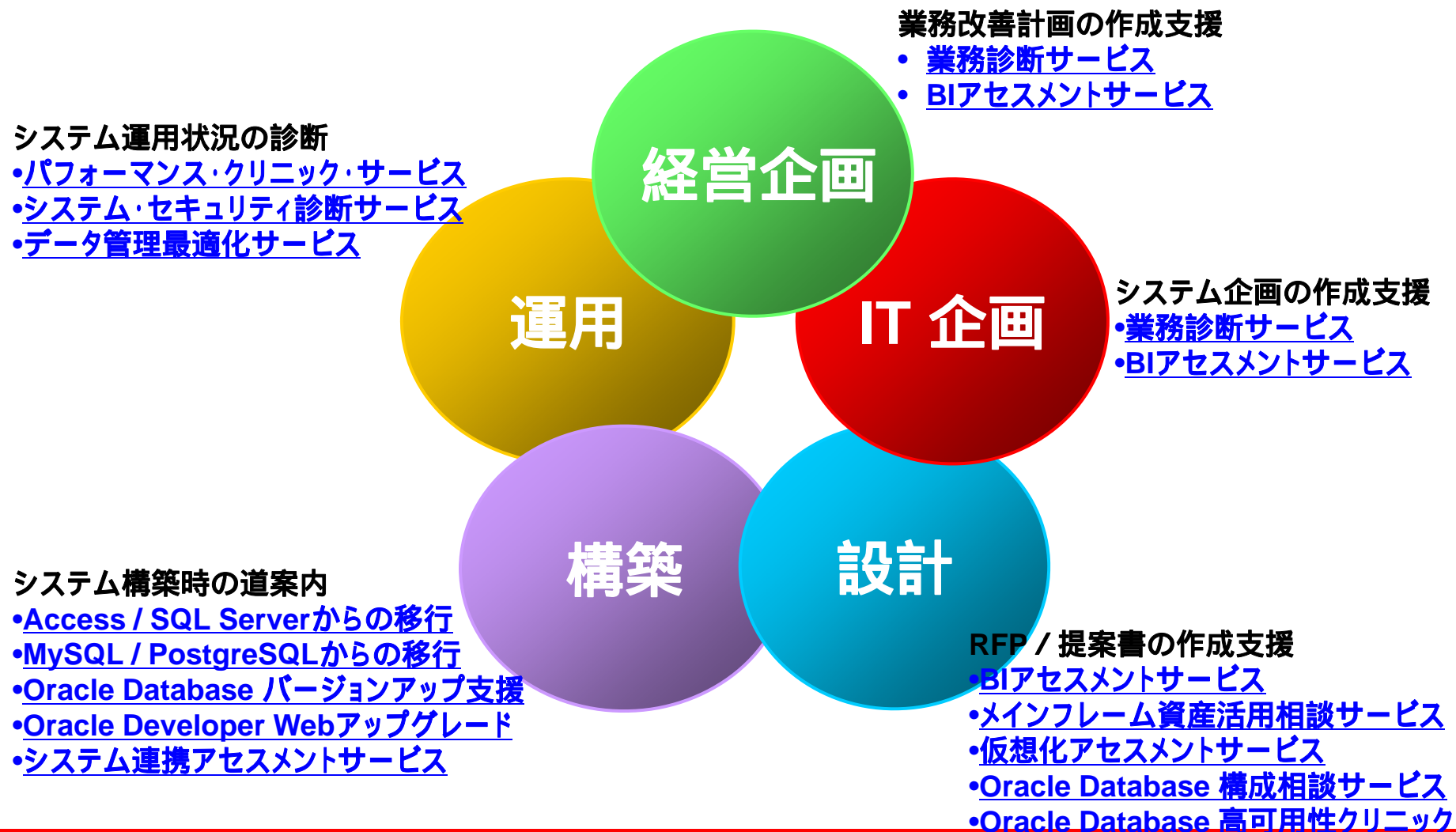
(開催日:11/20、11/27、12/3、12/4)

http://education.oracle.co.jp/lvc_session_0912/

ORACLE

ITプロジェクト全般に渡る無償支援サービス

Oracle Direct Conciergeサービスメニュー



ORACLE

あなたにいちばん近いオラクル



Oracle Direct

まずはお問合せください

システムの検討・構築から運用まで、ITプロジェクト全般の相談窓口としてご支援いたします。

システム構成やライセンス/購入方法などお気軽にお問い合わせ下さい。

Web問い合わせフォーム

専用お問い合わせフォームにてご相談内容を承ります。

http://www.oracle.co.jp/inq_pl/INQUIRY/quest?rid=28

フォームの入力には、Oracle Direct Seminar申込時と同じ
ログインが必要となります。

こちらから詳細確認のお電話を差し上げる場合がありますので、ご登録さ
れている連絡先が最新のものになっているか、ご確認下さい。

フリーダイヤル

0120 - 155 - 096

月曜~金曜 9:00~12:00、13:00~18:00

(祝日および年末年始除く)

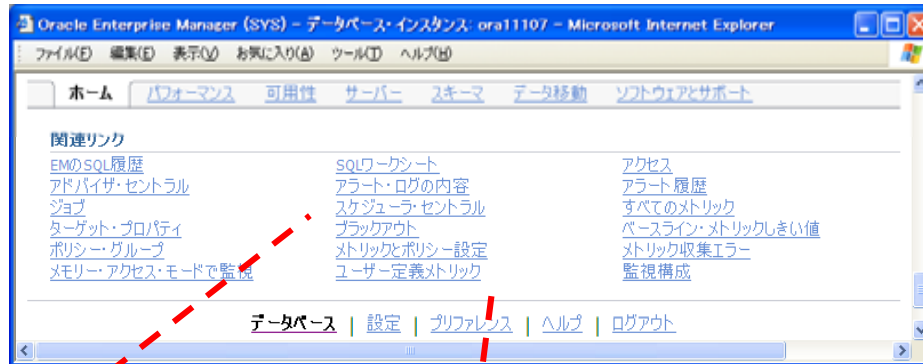
ORACLE



付録

- 表定義とデータの確認
 - SQLワークシート
 - SQL Developer

SQLワークシートを用いた表データの確認方法



SQLワークシート
アラート・ログの内容
スケジューラ・セントラル
ブラックアウト
メトリックとポリシー設定
ユーザー定義メトリック

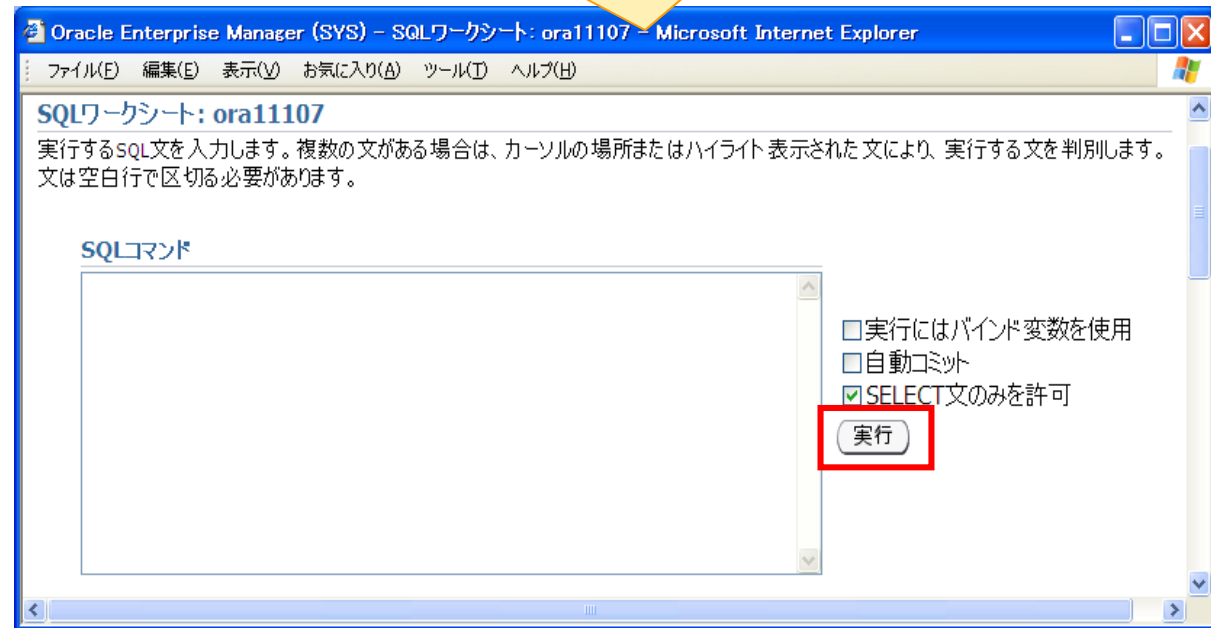
ホーム画面を下にスクロールし「関連リンク」の中から「SQLワークシート」をクリック

以下のSQL文を入力し、「実行」をクリック

```
SELECT * FROM SCOTT.EMP
```

SQLコマンド

```
SELECT * FROM SCOTT.EMP
```



ORACLE

EMP表の表データが確認できます

発行したSQL文と実行結果が表示されます

The screenshot shows the Oracle Enterprise Manager interface in a Microsoft Internet Explorer browser window. The title bar reads "Enterprise Manager (SYS) - SQLワークシート: ora11107 - Microsoft Internet Explorer". The browser menu includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)".

The main content area is titled "最終実行SQL" and displays the following SQL query:

```
SELECT *  
FROM SCOTT.EMP
```

Below the query, there is a section titled "最終実行の詳細" with three buttons: "SQL修復アドバイザー", "SQLの詳細", and "SQLチューニング・アドバイザーのスケジュール".

Underneath, there are three tabs: "結果" (selected), "統計", and "プラン". The "結果" tab shows a table with the following columns: EMPNO, ENAME, JOB, MGR, HIREDATE, SAL, COMM, and DEPTNO. The execution time is indicated as "実行時間(秒) 0.0".

EMPNO	ENAME	JOB	MGR	HIREDATE	SAL	COMM	DEPTNO
7369	SMITH	CLERK	7902	1980/12/17 0:00:00	800		20
7499	ALLEN	SALESMAN	7698	1981/02/20 0:00:00	1600	300	30
7521	WARD	SALESMAN	7698	1981/02/22 0:00:00	1250	500	30
7566	JONES	MANAGER	7839	1981/04/02 0:00:00	2975		20
7654	MARTIN	SALESMAN	7698	1981/09/28 0:00:00	1250	1400	30
7698	BLAKE	MANAGER	7839	1981/05/01 0:00:00	2850		30
7782	CLARK	MANAGER	7839	1981/06/09 0:00:00	2450		10
7788	SCOTT	ANALYST	7566	1987/04/19 0:00:00	3000		20
7839	KING	PRESIDENT		1981/11/17 0:00:00	5000		10
7844	TURNER	SALESMAN	7698	1981/09/08 0:00:00	1500	0	30
7876	ADAMS	CLERK	7788	1987/05/23 0:00:00	1100		20
7900	JAMES	CLERK	7698	1981/12/03 0:00:00	950		30
7902	FORD	ANALYST	7566	1981/12/03 0:00:00	3000		20
7934	MILLER	CLERK	7782	1982/01/23 0:00:00	1300		10

At the bottom of the interface, there are three buttons: "SQL修復アドバイザー", "SQLの詳細", and "SQLチューニング・アドバイザーのスケジュール".

SQL Developer とは？

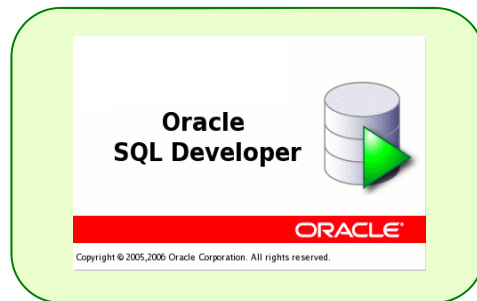
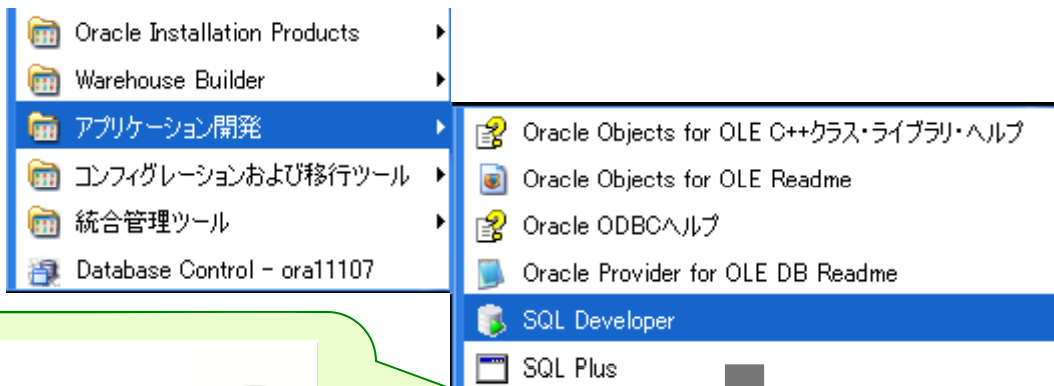
- Oracle SQL Developerは、Oracle純正のデータベース開発ツールです
- Oracle SQL Developerを使用すると、データベース・オブジェクトの参照、SQL文とSQLスクリプトの実行、およびPL/SQL文の編集・デバッグなどの様々な操作をグラフィカルに実行できます

新しいバージョンのご利用をお勧めします

- SQL Developerに関するより多くの情報は、以下のWebサイトより提供されています
http://otn.oracle.co.jp/products/database/sql_developer/
- 最新のバージョンはWebより無償でダウンロード提供されています
<http://www.oracle.com/technology/global/jp/software/products/sql/index.html>

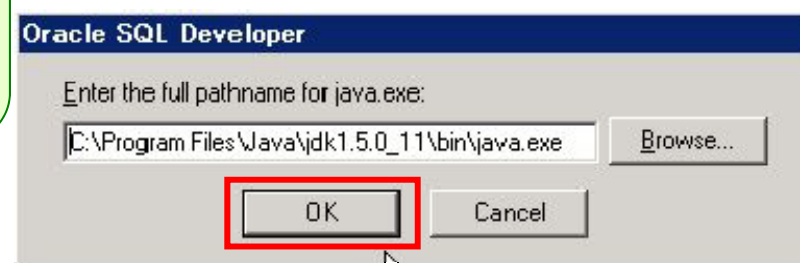
ORACLE

SQL Developerを起動します



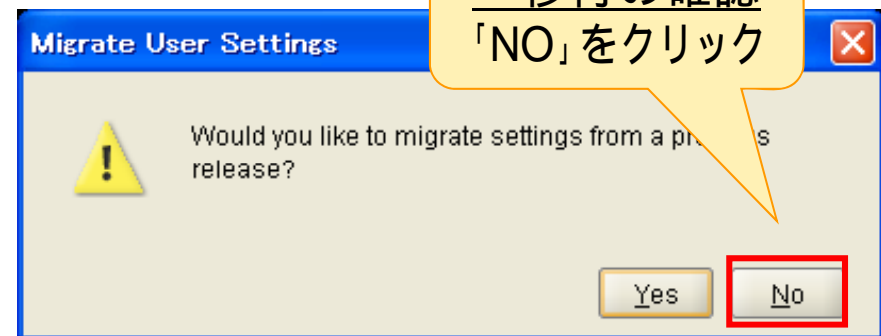
SQL Developerの起動

スタート・ボタン
「プログラム」
「Oracle – Home Name」
「アプリケーション開発」
「SQL Developer」



JDKの指定
コンピュータにインストールされているJDKの場所を指定して「OK」をクリックします

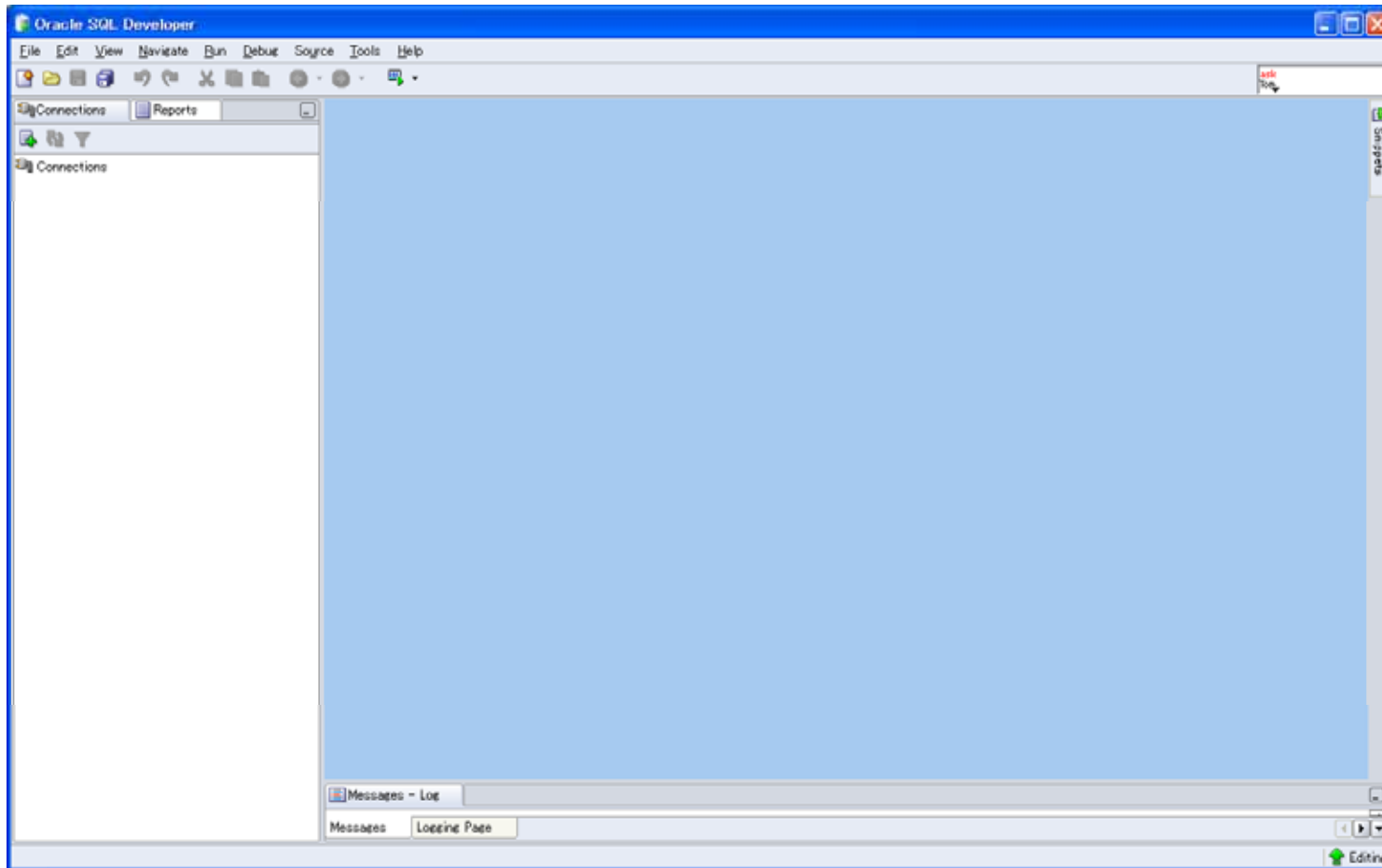
移行の確認
「NO」をクリック



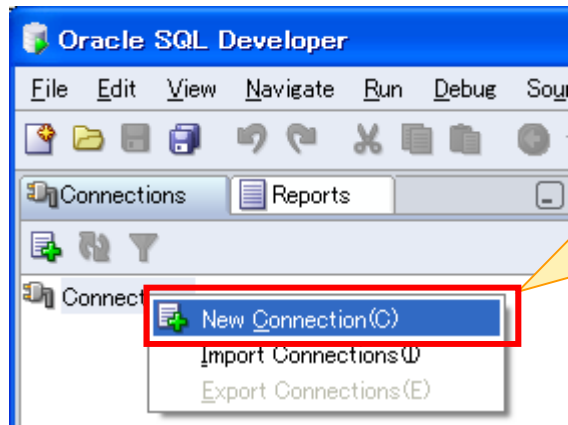
ORACLE

SQL Developerの起動画面

SQL Developer SQL Developerが起動し、以下のような画面が表示されます



SQL Developerからデータベースへ接続します

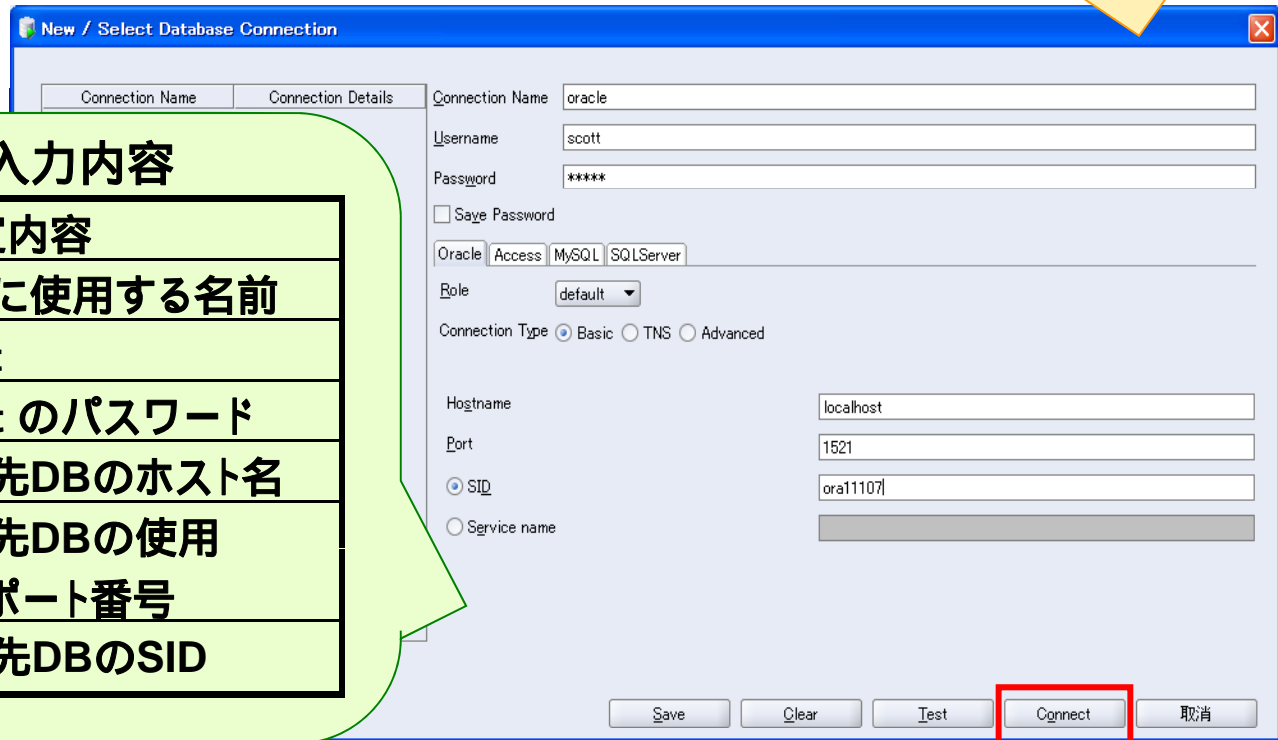


データベースへ接続
Connectionを右クリックし
「New Connection」を選択

接続情報の入力
接続情報を入力し
「Connect」をクリック

DBへの接続情報の入力内容

項目名	設定内容
Connection Name	接続に使用する名前
Username	scott
Password	scott のパスワード
Hostname	接続先DBのホスト名
Port	接続先DBの使用 するポート番号
SID	接続先DBのSID



SQL Developerを使った表定義の確認

表の選択
「SID(oracle)」 「Tables」 「EMP」
を選択

EMP表の表定義が表示されます

Column Name	Data Type	Nullable	Data Default	COLUMN ID	Primary Key	COMME
EMPNO	NUMBER(4,0)	No	(null)	1	1 (null)	
ENAME	VARCHAR2(10 BYTE)	Yes	(null)	2	(null) (null)	
JOB	VARCHAR2(9 BYTE)	Yes	(null)	3	(null) (null)	
MGR	NUMBER(4,0)	Yes	(null)	4	(null) (null)	
HIREDATE	DATE	Yes	(null)	5	(null) (null)	
SAL	NUMBER(7,2)	Yes	(null)	6	(null) (null)	
COMM	NUMBER(7,2)	Yes	(null)	7	(null) (null)	
DEPTNO	NUMBER(2,0)	Yes	(null)	8	(null) (null)	

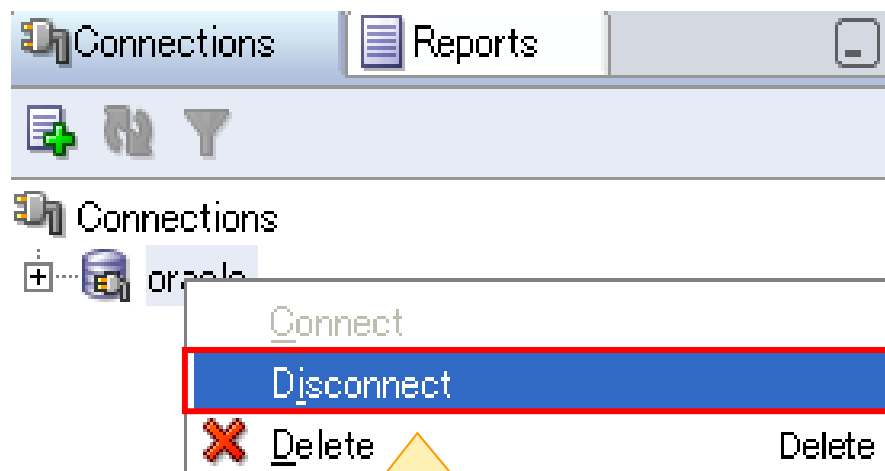
SQL Developerを使ったデータの確認

データの表示
「Data」をクリック

EMPNO	ENAME	JOB	MGR	HIREDATE	SAL	COMM	DEPTNO
1	7369 SMITH	CLERK	7902	80-12-17	800	(null)	20
2	7499 ALLEN	SALESMAN	7698	81-02-20	1600	300	30
3	7521 WARD	SALESMAN	7698	81-02-22	1250	500	30
4	7566 JONES	MANAGER	7839	81-04-02	2975	(null)	20
5	7654 MARTIN	SALESMAN	7698	81-09-28	1250	1400	30
6	7698 BLAKE	MANAGER	7839	81-05-01	2850	(null)	30
7	7782 CLARK	MANAGER	7839	81-06-09	2450	(null)	10
8	7788 SCOTT	ANALYST	7566	87-04-19	3000	(null)	20

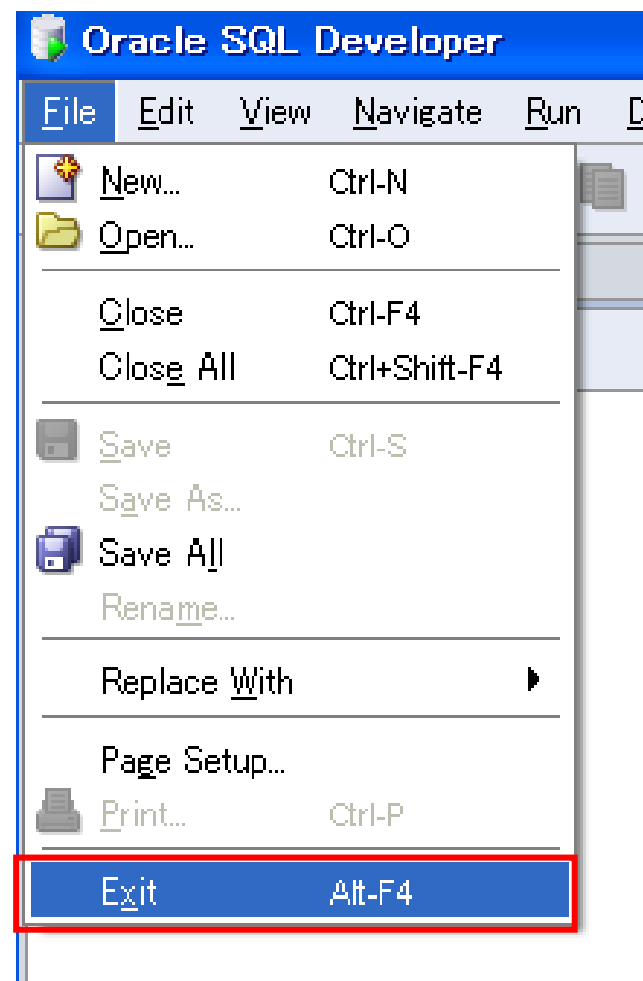
EMP表のデータが表示されます

SQL Developerの終了



データベース接続切断
「SID名」を右クリックし
「Disconnect」を選択

SQL Developerの終了
「Exit」を選択し、SQL
Developerを終了



ORACLE®

日本オラクル株式会社 無断転載を禁ず

この文書はあくまでも参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。

日本オラクル社は本書の内容に関していかなる保証もいたしません。また、本書の内容に関連したいかなる損害についても責任を負いかねます。

Oracle、PeopleSoft、JD Edwards、及びSiebelは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性がります。